

お茶の水女子大学学報

平成 14 年 11 月 1 日
お茶の水女子大学総務課

目 次

◇ 学 内 規 則

- ◎お茶の水女子大学海外留学支援事業に関する要項 2
- ◎お茶の水女子大学アジア女性研究者支援事業に関する要項 3
- ◎お茶の水女子大学産学連携研究員取扱要項の一部を改正する要項 4
- ◎お茶の水女子大学科学研究費補助金の研究に係る研究支援者取扱要項の一部を改正する要項 5
- ◎お茶の水女子大学における科学研究費補助金に係る間接経費取扱要項の一部を改正する要項 6
- ◎お茶の水女子大学国際交流委員会規程の一部を改正する規程 7

◇ 各種委員会委員 8

◇ 学科主任・専攻長 24

◇ 新任部局長紹介 25

◇ 人 事 26

◇ 学 事

- ◎平成 15 年度お茶の水女子大学文教育学部第 3 年次編入学学生募集要項 34

- ◎平成 15 年度お茶の水女子大学生生活科学部第 3 年次編入学学生募集要項 44

- ◎平成 15 年度お茶の水女子大学特別選抜学生募集要項 46

- ◎平成 15 年度お茶の水女子大学私費外国人留学生（学部留学生）特別選抜学生募集要項 56

- ◎平成 14 年度 9 月卒業式・大学院学位記授与式 62

- ◎学位授与 63

◇ 諸 報

- ◎研修 65

- ◎健康診断 66

- ◎公開講座 67

- ◎第 2 回ホームページの作り方研修会 70

- ◎科学研究費補助金に関する説明会 70

- ◎レクリエーション行事 71

- ◎訃報 72

◇ 日 誌 73

学内規則

○平成14年お茶の水女子大学規則第41号

お茶の水女子大学海外留学支援事業に関する要項を次のように定める。

平成14年9月24日

お茶の水女子大学長 本田和子

お茶の水女子大学海外留学支援事業に関する要項

(趣旨)

第1 この要項は、お茶の水女子大学創立120周年記念事業国際交流振興基金(以下「基金」という。)の事業の一環として、お茶の水女子大学(以下「本学」という。)が実施する海外留学支援事業(以下「支援事業」という。)について定める。

(目的)

第2 支援事業は、海外の先端的研究者との交流・共同研究を通して研究の一層の充実向上のために海外研修を希望する者に奨励留学生として基金からお茶の水女子大学海外留学支援奨学金(以下「留学奨学金」という。)を授与し、若手女性研究者を支援することを目的とする。

(奨励留学生)

第3 奨励留学生は、成績優秀かつ将来が嘱望される者のうち海外研修を希望する者で、次の各号のいずれかに該当する者とする。

一 本学大学院人間文化研究科博士後期課程在学者

二 本学大学院人間文化研究科博士後期課程修了者又は単位修得退学者で、研究を継続中の者(常勤の職員を除く。)

2 奨励留学生は、選考委員会の推薦に基づき学長が決定する。

(留学奨学金)

第4 留学奨学金は、年間1人ないし2人の奨励留学生に、1人当たり200万円を限度として授与する。

2 留学奨学金は、授与式において、学長が賞状とともに授与する。

(選考委員会)

第5 奨励留学生候補者を選考するため、本学大学院人間文化研究科に選考委員会を置く。

2 選考委員会は、次の各号に掲げる委員をもつて組織する。

一 大学院人間文化研究科長

二 大学院人間文化研究科博士後期課程各専攻長

三 社団法人桜蔭会から選出された者1人

3 選考委員会に委員長を置き、人間文化研究科長をもつて充てる。

4 選考委員会は、募集要項を作成し、学内外に周知するとともに、奨励留学生候補者を選定し、学長に推薦する。

(事務)

第6 支援事業の事務は、研究科・学部事務部が行う。

(雑則)

第7 この要項に定めるもののほか、支援事業に関し必要な事項は、人間文化研究科長が別に定める。

附則

この要項は、平成14年9月24日から施行する。

○平成14年お茶の水女子大学規則第42号

お茶の水女子大学アジア女性研究者支援事業に関する要項を次のように定める。

平成14年9月24日

お茶の水女子大学長 本田和子

お茶の水女子大学アジア女性研究者支援事業に関する要項

(趣旨)

第1 この要項は、お茶の水女子大学創立120周年記念事業国際交流振興基金(以下「基金」という。)の事業の一環として、お茶の水女子大学(以下「本学」という。)が実施するアジア女性研究者支援事業(以下「支援事業」という。)について定める。

(目的)

第2 支援事業は、アジアの各地域において活躍する外国人で、リカレント・リフレッシュ研究のために来日研修を希望する者に招へい研究者として基金からお茶の水女子大学アジア女性研究者支援奨学金(以下「留学奨学金」という。)を授与し、女性研究者を支援することを目的とする。

(招へい研究者)

第3 招へい研究者は、本学に学生として留学後、アジアの各地域において研究者又は各界の指導者として活躍し来日研修を希望する者で、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- 一 本学卒業生
- 二 本学大学院人文科学研究科、理学研究科及び家政学研究科修了者
- 三 本学大学院人間文化研究科博士前期課程修了者
- 四 本学大学院人間文化研究科博士後期課程修了者又は単位修得退学者

2 招へい研究者は、選考委員会の推薦に基づき学長が決定する。

(留学奨学金)

第4 留学奨学金は、年間1人ないし2人の招へい研究者に、1人当たり200万円を限度として授与する。

2 留学奨学金は、授与式において、学長が賞状とともに授与する。

(選考委員会)

第5 招へい研究者候補者を選考するため、本学大学院人間文化研究科に選考委員会を置く。

2 選考委員会は、次の各号に掲げる委員をもつて組織する。

- 一 大学院人間文化研究科長
- 二 大学院人間文化研究科博士後期課程各専攻長
- 三 社団法人桜蔭会から選出された者1人

3 選考委員会に委員長を置き、人間文化研究科長をもつて充てる。

4 選考委員会は、募集要項を作成し、学内外に周知するとともに、招へい研究者候補者を選定し、学長に推薦する。

(事務)

第6 支援事業の事務は、研究科・学部事務部が行う。

(雑則)

第7 この要項に定めるもののほか、支援事業に関し必要な事項は、人間文化研究科長が別に定める。

附則

この要項は、平成14年9月24日から施行する。

○平成14年お茶の水女子大学規則第43号

お茶の水女子大学産学連携研究員取扱要項の一部を改正する要項を次のように定める。

平成14年9月24日

お茶の水女子大学長 本 田 和 子

お茶の水女子大学産学連携研究員取扱要項の一部を改正する要項

お茶の水女子大学産学連携研究員取扱要項（平成13年9月25日制定）の一部を次のように改正する。

題名をを次のように改める。

お茶の水女子大学産学官連携研究員取扱要項

本則中「産学連携研究員」を「産学官連携研究員」に改める。

第1中「企業との」を削り、「当該研究」を「当該業務」に、「研究の遂行上必要な能力」を「業務の遂行上必要な能力」に改める。

第2中「企業との」を削る。

第3第1号中「企業から」を「当該共同研究又は受託研究」に改める。

同条第2号中「企業との」を削る。

第5を次のように改める。

第5 産学官連携研究員は、日々雇用又は時間雇用の非常勤職員とする。なお、産学官連携研究員に対して客員教授又は客員助教授を称せしめるに当たっては、お茶の水女子大学客員教授及び客員助教授の選考に関する規程（平成元年4月26日制定）に定めるところによる。

第6中「企業との」を削る。

第8中「企業との」を削る。

第10中「企業との」を削る。

附 則

この要項は、平成14年9月24日から施行し、平成14年7月15日から適用する。

○平成14年お茶の水女子大学規則第44号

お茶の水女子大学科学研究費補助金の研究に係る研究支援者取扱要項の一部を改正する要項を次のように定める。

平成14年9月24日

お茶の水女子大学長 本田 和子

お茶の水女子大学科学研究費補助金の研究に係る研究支援者取扱要項の一部を改正する要項

お茶の水女子大学科学研究費補助金の研究に係る研究支援者取扱要項（平成13年9月25日制定）の一部を次のように改正する。

第1中「（特別推進研究、特定領域研究、特別研究推進費、COE形成基礎研究費、地域連携推進研究費、基盤研究、萌芽的研究、奨励研究（A）、学術創成研究費）」を削る。

第5中「常勤職員の1週間当たりの勤務時間の4分の3を超えない範囲内で勤務する」を「日々雇用又は時間雇用の」に改める。

附 則

この要項は、平成14年9月24日から施行し、平成14年4月1日から適用する。

○平成14年お茶の水女子大学規則第45号

お茶の水女子大学における科学研究費補助金に係る間接経費取扱要項の一部を改正する要項を次のように定める。

平成14年9月24日

お茶の水女子大学長 本田 和子

お茶の水女子大学における科学研究費補助金に係る間接経費取扱要項の一部を改正する要項

お茶の水女子大学における科学研究費補助金に係る間接経費取扱要項（平成13年9月25日制定）の一部を次のように改正する。

第1中「（特別推進研究、基盤研究（S）、基盤研究（A）、学術創成研究費）」を削る。

附 則

この要項は、平成14年9月24日から施行し、平成14年4月1日から適用する。

○平成14年お茶の水女子大学規則第46号

お茶の水女子大学国際交流委員会規程の一部を改正する規程を次のように定める。

平成14年9月25日

お茶の水女子大学長 本田和子

お茶の水女子大学国際交流委員会規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学国際交流委員会規程（平成5年1月27日制定）の一部を次のように改正する。

第2条第3号中「学長が諮問する事項」を「必要な事項」に改める。

第3条第1項中第8号を第9号とし、第7号を第8号とし、第6号を第7号とし、第5号の次に次の一号を加える。

六 附属学校部長

同条第2項中「第7号」を「第8号」に改める。

附 則

この規程は、平成14年9月25日から施行する。

◆各種委員会委員◆

1. ()は事務担当課
2. *は委員長又は議長
3. 任期無記入は官職指定
4. 官職は最新のもの
掲載
(編集中の異動について
もできる限り補正した)

評議会 (総務課)

官職等	氏 名	任 期
学 長	*本 田 和 子	
副 学 長 (研究・企画 担当)	松 本 勲 武	
副 学 長 (教育・厚生 補導担当)	市 古 夏 生	
文教育学部 部 長	土 屋 賢 二	
理学部長	室 伏 きみ子	
生活科学 部 長	本 間 清 一	
大 学 院 大 人 間 文 化 研 究 科 長	平 野 由 紀 子	
附 属 図 書 館 長	藤 原 正 彦	
附 属 学 校 部 長	田 宮 兵 衛	
文教育学部 選出評議員	羽 入 佐 和 子	14. 4. 1~16. 3. 31
	安 田 次 郎	
理 学 部 選出評議員	柴 田 文 明	
	菅 本 晶 夫	
生活科学部 選出評議員	久 保 田 紀 久 枝	
	戒 能 民 江	
大学院人間 文化研究科 選出評議員	内 田 伸 子	
	富 永 靖 徳	
学 長 指 名 評 議 員	篠 塚 英 子	

評議会規則第11条に定める者

官職等	氏 名	任 期
ジェンダー 研 究 セ ン ター 長	波 平 恵 美 子	
生 活 環 境 研 究 セ ン ター 長	近 藤 和 雄	
留 学 生 セ ン ター 長	福 田 豊	
事 務 局 長	秋 山 弘	

部局長会議 (総務課)

官職等	氏 名	任 期
学 長	*本 田 和 子	
副 学 長 (研究・企画 担当)	松 本 勲 武	
副 学 長 (教育・厚生 補導担当)	市 古 夏 生	
文教育学部 部 長	土 屋 賢 二	
理学部長	室 伏 きみ子	
生活科学 部 長	本 間 清 一	
大 学 院 大 人 間 文 化 研 究 科 長	平 野 由 紀 子	
附 属 図 書 館 長	藤 原 正 彦	
附 属 学 校 部 長	田 宮 兵 衛	
ジェンダー 研 究 セ ン ター 長	波 平 恵 美 子	
生 活 環 境 研 究 セ ン ター 長	近 藤 和 雄	
留 学 生 セ ン ター 長	福 田 豊	
事 務 局 長	秋 山 弘	

学長補佐会議 (総務課)

官職等	氏 名	任 期
学 長	* 本 田 和 子	
副 学 長 (研究・企画 担当)	松 本 勲 武	
副 学 長 (教育・厚生 補導担当)	市 古 夏 生	
事務局長	秋 山 弘	

学長補佐体制に関する申合せ第2第4号に定める者

学長補佐	篠 塚 英 子	
"	千 葉 和 義	
"	小 谷 眞 男	
"	内 田 忠 賢	

大学資料委員会 (総務課)

官職等	氏 名	任 期
附 属 図 書 館 長	* 藤 原 正 彦	
文教育学部 選 出 委 員	石 口 彰	14. 4. 1~16. 3.31
理 学 部 選 出 委 員	竹 尾 富 貴 子	
生活科学部 選 出 委 員	吉 村 佳 子	
文教育学部 教 授	秋 山 光 文	
文教育学部 教 授	鷹 野 光 行	
ジェンダー 研究センター 教 授	館 かおる	
大学院人間 文化研究科 助 教 授	米 田 俊 彦	13. 7.13~15. 7.12
大学院人間 文化研究科 教 授	小 風 秀 雅	14. 7. 1~16. 6.30

セクシュアル・ハラスメント 防止対策委員会 (総務課)

官職等	氏 名	任 期
副 学 長 (研究・企画 担当)	* 松 本 勲 武	
事務局長	秋 山 弘	
副 学 長 指 名 委 員	菅 聡 子	
	益 田 祐 一	
	戒 能 民 江	
	天 野 正 子	
	高 橋 通 泰	
事務局長	下 田 勝	
指 名 委 員	松 井 照 雄	

事務改善研究委員会 (総務課)

官職等	氏 名	任 期
事務局長	*秋山 弘	
総務課長	下田 勝	
会計課長	加藤 妙子	
施設課長	外山 信豊	
学務課長	鈴木 進	
学生課長	松井 照雄	
入試課長	高橋 裕俊	
留学生課長	荒木 進一郎	
研究科・ 学部事務長	加藤 久雄	
附属図書館 事務長	海老原 葵	
総務課 課長補佐	斎藤 実	
会計課 課長補佐	峯村 薫	
施設課 課長補佐	早川 満雄	
学務課 課長補佐	村上 恭二	

事務連絡協議会 (総務課)

官職等	氏 名	任 期
事務局長	*秋山 弘	
総務課長	下田 勝	
会計課長	加藤 妙子	
施設課長	外山 信豊	
学務課長	鈴木 進	
学生課長	松井 照雄	
入試課長	高橋 裕俊	
留学生課長	荒木 進一郎	
企画広報 室 長	西村 光範	
研究協力 室 長	近本 政明	
附属図書館 事務長	海老原 葵	
研究科・ 学部事務長	加藤 久雄	
総務課 課長補佐	斎藤 実	
会計課 課長補佐	峯村 薫	
施設課 課長補佐	早川 満雄	
学務課 課長補佐	村上 恭二	
総務課 専門員	上島 正彦	
総務課専門員 (附属学校部 事務室長)	平松 周二	
学生課 専門員	古賀 智	
研究科・ 学部事務部 専門員	清水 孝一	

評価委員会 (企画広報室)

官職等	氏名	任期
副学長 (研究・企画 担当)	*松本勲武	
副学長 (教育・厚生 補導担当)	市古夏生	
評議員	安田次郎	14. 4. 1~16. 3. 31
	柴田文明	
	戒能民江	
	富永靖徳	
文教育学部 選出委員	平岡公一	14. 4. 1~16. 3. 31
理学部 選出委員	笠原勇二	
生活科学部 選出委員	脊山洋右	
大学院人間 文化研究科 選出委員	河村哲也	
総務課長	下田勝	

ホームページ運営委員会 (企画広報室)

官職等	氏名	任期
文教育学部 選出委員	宮尾正樹	13. 11. 1~15. 10. 31
理学部 選出委員	*森義仁	
生活科学部 選出委員	大瀧雅寛	
大学院人間 文化研究科 選出委員	浅本紀子	14. 10. 1~15. 10. 31
シニア研究セン ター、生活環境研究セン ター、留学生セン ター、保健管理セン ター選 出委員	森山新	13. 11. 1~15. 10. 31
附属学校 選出委員	加々美勝久	
事務局 選出委員	下田勝	
附属図書館 選出委員	海老原葵	
情報処理 センター長	山本秀行	14. 10. 1~15. 10. 31

公開講座委員会 (企画広報室)

官職等	氏名	任期
副学長 (研究・企画 担当)	*松本勲武	
評議員	富永靖徳	
文教育学部 選出委員	杉谷隆 森山新	12. 12. 1~14. 11. 30 14. 10. 1~15. 11. 30
理学部 選出委員	古川はづき 吉田裕亮	13. 12. 1~15. 11. 30 14. 4. 1~14. 11. 30
生活科学部 選出委員	鈴木禎宏 香西みどり	13. 12. 1~15. 11. 30 12. 12. 1~14. 11. 30
大学院人間 文化研究科 選出委員	畑江敬子 大塚常樹	12. 12. 1~14. 11. 30

広報委員会 (企画広報室)

官職等	氏名	任期
副学長 (研究・企画 担当)	*松本勲武	
副学長 (教育・厚生 補導担当)	市古夏生	
評議員	羽入佐和子	14. 4. 1~16. 3. 31
	柴田文明	
	久保田紀久枝	
	内田伸子	
文教育学部 選出委員	宮尾正樹	14. 4. 1~16. 3. 31
理学部 選出委員	今野美智子	
生活科学部 選出委員	大瀧雅寛	
大学院人間 文化研究科 選出委員	天野知香	
ホームページ 運営委員 会委員長	森義仁	
企画広報 室長	西村光範	

独立行政法人化調査検討委員会 (企画広報室)

官職等	氏名	任期
副学長 (研究・企画 担当)	*松本勲武	
副学長 (教育・厚生 補導担当)	市古夏生	
文教育学部 選出委員	小風秀雅 竹村和子	13. 4. 25~15. 3. 31
理学部 選出委員	菅本晶夫 竹尾富貴子	14. 4. 1~15. 3. 31
生活科学部 選出委員	松浦秀治 吉村佳子	13. 4. 25~15. 3. 31
大学院人間 文化研究科 選出委員	坂本佳鶴恵 村田容常	
シニア研究セン ター、生活職研 究センター、 学生センター 選出委員	伊藤るり	
附属学校 選出委員	荻原万紀子 宗我部義則	
総務課長	下田勝	
会計課長	加藤妙子	

発明委員会 (研究協力室)

官職等	氏 名	任 期
文教育学部 選出委員	内 藤 俊 史	14. 10. 1~16. 9. 30
理 学 部 選出委員	林 正 男 藤 代 一 成	
生活科学部 選出委員	仲 西 正	
大学院人間 文化研究科 選出委員	村 田 容 常	13. 4. 1~15. 3. 31
生活環境研 究センター 選出委員	*大 塚 議	14. 10. 1~16. 9. 30

共同研究委員会 (研究協力室)

官職等	氏 名	任 期
副 学 長 (研究・企画 担当)	*松 本 勲 武	
文教育学 部 長	土 屋 賢 二	
理学部長	室 伏 きみ子	
生活科学 部 長	本 間 清 一	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 長	平 野 由 紀 子	
ジェンダー 研 究 セ ン ター 長	波 平 恵 美 子	
生 活 環 境 研 究 セ ン ター 長	近 藤 和 雄	
事務局長	秋 山 弘	

国際交流委員会 (研究協力室)

官職等	氏 名	任 期
学 長	*本 田 和 子	
副 学 長 (研究・企画 担当)	松 本 勲 武	
副 学 長 (教育・厚生 補導担当)	市 古 夏 生	
文教育学 部 長	土 屋 賢 二	
理学部長	室 伏 きみ子	
生活科学 部 長	本 間 清 一	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 長	平 野 由 紀 子	
附 属 図 書 館 長	藤 原 正 彦	
留 学 生 セ ン ター 長	福 田 豊	
評 議 員	安 田 次 郎	
	柴 田 文 明	
	久 保 田 紀 久 枝	
	内 田 伸 子	
附 属 学 校 部 長	田 宮 兵 衛	
事務局長	秋 山 弘	

組換えDNA実験安全委員会 (研究協力室)

官職等	氏 名	任 期
研 究 者	松 浦 悦 子	13. 12. 16~15. 12. 15
自 然 科 学	村 田 容 常	
人 文 科 学	佐 藤 光 子	
社 会 科 学	大 森 正 博	
医 学	*森 田 寛	
研 究 科・ 学 部 事 務 長	加 藤 久 雄	
安全主任者	馬 場 昭 次	13. 12. 16~15. 12. 15

生活環境研究センター運営委員会 (研究協力室)

官職等	氏 名	任 期
生活環境研究センター長	*近藤和雄	
生活環境研究センター教授	大塚 讓	
生活環境研究センター教授	富永典子	
生活環境研究センター教授	佐竹元吉	
文教育学部選出委員	内藤博夫	14. 4. 1~16. 3.31
理学部選出委員	永野 肇	
生活科学部選出委員	會川義寛	
生活科学部選出委員	久保田紀久枝	
大学院人間文化研究科選出委員	馬場昭次	
大学院人間文化研究科選出委員	馬場昭次	

バス・コラレーション・システム運営委員会 (研究協力室)

官職等	氏 名	任 期
文教育学部選出委員	杉谷 隆	14. 4. 1~16. 3.31
文教育学部選出委員	水村 真由美	
理学部選出委員	最上 義広	
理学部選出委員	*森 義仁	
生活科学部選出委員	柴坂 寿子	
生活科学部選出委員	井原 成男	
大学院人間文化研究科選出委員	坂元 章	14. 4. 1~16. 3.31
大学院人間文化研究科選出委員	佐藤 浩史	
附属学校選出委員	室岡 和彦	14. 4. 1~16. 3.31
附属学校選出委員	宮本 乙女	
研究協力室長	近本 政明	
会計課長	加藤 妙子	
施設課長	外山 信豊	
学務課長	鈴木 進	

ジェンダー研究センター運営委員会 (研究協力室)

官職等	氏 名	任 期
ジェンダー研究センター長	*波平 恵美子	
ジェンダー研究センター教授	館 かのる	
ジェンダー研究センター教授	伊藤 るり	
ジェンダー研究センター教授	河野 貴代美	
文教育学部選出委員	坂本 佳鶴恵	14. 4. 1~16. 3.31
文教育学部選出委員	石塚 道子	
理学部選出委員	前田 ミチエ	
理学部選出委員	古川 はづき	
生活科学部選出委員	駒城 素子	
生活科学部選出委員	戒能 民江	
大学院人間文化研究科選出委員	米田 俊彦	
大学院人間文化研究科選出委員	竹村 和子	

共通機器センター運営委員会 (研究協力室)

官職等	氏 名	任 期
共通機器センター長	*益田 祐一	
文教育学部選出委員	栗原 尚子	14. 4. 1~16. 3.31
文教育学部選出委員	石口 彰	13. 4. 1~15. 3.31
理学部選出委員	作田 正明	14. 4. 1~16. 3.31
理学部選出委員	今井 正幸	13. 4. 1~15. 3.31
生活科学部選出委員	仲西 正	14. 4. 1~16. 3.31
生活科学部選出委員	森光 康次郎	13. 4. 1~15. 3.31
大学院人間文化研究科選出委員	林 正男	13. 4. 1~15. 3.31
大学院人間文化研究科選出委員	村田 容常	14. 4. 1~16. 3.31
生活環境研究センター選出委員	大塚 讓	13. 4. 1~15. 3.31

情報処理センター運営委員会 (研究協力室)

官職等	氏 名	任 期
情報処理センター長	*山本秀行	14. 10. 1~16. 9. 30
情報処理センター主任	渡部 亜矢子	
文教育学部選出委員	佐々木 義 式 石 口 彰	
理学部選出委員	小林 功 佳 森 義 仁	
生活科学部選出委員	大 瀧 雅 寛 大 森 正 博	
大学院人間文化研究科選出委員	内 藤 俊 史	
ジェンダー研究センター選出委員	伊 藤 る り	
生活環境研究センター選出委員	大 塚 謙	
附 属 図書館長	藤 原 正 彦	

お茶の水女子大学生物医学的研究の倫理特別委員会 (研究協力室)

官職等	氏 名	任 期
自然科学	馬 場 昭 次	13. 10. 1~15. 9. 30
	脊 山 洋 右	
人文・社会学	高 島 元 洋	
	佐 藤 光 子	
医 師	*森 田 寛	
	近 藤 和 雄	
学 長 指名委員	松 本 勲 武	

子どもの発達研究センター運営委員会 (研究協力室)

官職等	氏 名	任 期
子どもの発達研究センター長	*内 田 伸 子	14. 5. 8~16. 3. 31
子どもの発達研究センター員	無 藤 隆	
子どもの発達研究センター員	酒 井 朗	
発達臨床心理相談室長	井 原 成 男	
文教育学部選出委員	米 田 俊 彦	
理学部選出委員	中 居 功	
生活科学部選出委員	杉 田 孝 夫	
大学院人間文化研究科選出委員	高 島 元 洋	
附 属 学校部長	田 宮 兵 衛	
附 属 高等学校教頭	高 橋 通 泰	
附 属 中学校教頭	佐々木 和 枝	
附 属 小学校教頭	黒 部 善 之	
附 属 幼稚園長	片 岡 康 子	

子どもの発達研究センター研究委員会
(研究協力室)

官職等	氏 名	任 期
子どもの発達研究センター長	内 田 伸 子	
子どもの発達研究センター員	無 藤 隆	
子どもの発達研究センター員	酒 井 朗	
発達臨床心理相談室長	井 原 成 男	
文教育学部選出委員	耳 塚 寛 明	14. 4. 24～16. 3. 31
理学部選出委員	相 川 京 子	
生活科学部選出委員	永 瀬 伸 子	
大学院人間文化研究科選出委員	岡 崎 眸	
附属高等学校教諭	荻 原 万 紀 子	
附属中学校教諭	宗 我 部 義 則	
附属小学校教諭	成 田 信 子	
附属幼稚園教諭	吉 岡 晶 子	

予算委員会 (会計課)

官職等	氏 名	任 期
副学長 (研究・企画担当)	* 松 本 勲 武	
副学長 (教育・厚生補導担当)	市 古 夏 生	
文教育学部 長	土 屋 賢 二	
理学部長	室 伏 きみ子	
生活科学部 長	本 間 清 一	
大学院人間文化研究科 長	平 野 由 紀 子	
附 属 図書館長	藤 原 正 彦	
評 議 員	羽 入 佐和子	
	菅 本 晶 夫	
	戒 能 民 江	
	内 田 伸 子	
文教育学部選出委員	三 浦 徹	14. 10. 1～15. 3. 31
理学部選出委員	山 本 直 樹	14. 4. 1～16. 3. 31
生活科学部選出委員	脊 山 洋 右	14. 4. 1～16. 3. 31
大学院人間文化研究科選出委員	竹 尾 富 貴 子	13. 4. 1～15. 3. 31
ジェンダー研究センター長	波 平 恵 美 子	
生活環境研究センター長	近 藤 和 雄	
留学生センター長	福 田 豊	
事務局長	秋 山 弘	
会計課長	加 藤 妙 子	

防災委員会 (会計課)

官職等	氏名	任期
学長	*本田和子	
副学長 (教育・厚生 補導担当)	市古夏生	
文教育学部 部長	土屋賢二	
理学部長	室伏きみ子	
生活科学部 部長	本間清一	
大学院人間 文化研究科 長	平野由紀子	
附属 図書館長	藤原正彦	
附属 学校部長	田宮兵衛	
保健管理 センター 長	森田寛	
事務局長	秋山弘	
総務課長	下田勝	
会計課長	加藤妙子	
施設課長	外山信豊	
学務課長	鈴木進	
学生課長	松井照雄	
企画広報 室長	西村光範	
研究協力 室長	近本政明	

廃水管理委員会 (施設課)

官職等	氏名	任期
生活環境 研究センター 選出委員	*富永典子	13.10.1~15.9.30
文教育学部 選出委員	杉谷隆	
理学部 選出委員	松浦悦子	
	今井正幸	
益田祐一		
生活科学部 選出委員	大瀧雅寛	
	香西みどり	
大学院人間 文化研究科 選出委員	永野肇	13.4.1~15.3.31
附属学校 選出委員	石井朋子	13.10.1~15.9.30
	前川徹也	
会計課長	加藤妙子	
施設課長	外山信豊	

施設計画委員会 (施設課)

官職等	氏 名	任 期
学 長	*本 田 和 子	
副 学 長 (研究・企画 担当)	松 本 勲 武	
副 学 長 (教育・厚生 補導担当)	市 古 夏 生	
文教育学部 部 長	土 屋 賢 二	
理学部長	室 伏 きみ子	
生活科学 部 長	本 間 清 一	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 長	平 野 由 紀 子	
附 属 図 書 館 長	藤 原 正 彦	
附 属 学 校 部 長	田 宮 兵 衛	
評 議 員	羽 入 佐 和 子	
	柴 田 文 明	
	戒 能 民 江	
	富 永 靖 徳	
文教育学部 選 出 委 員	杉 谷 隆	13. 10. 1~15. 9. 30
理 学 部 選 出 委 員	最 上 義 広	14. 4. 1~16. 3. 31
生活科学部 選 出 委 員	森 光 康 次 郎	14. 4. 1~16. 3. 31
大学院人間 文化研究科 選 出 委 員	牧 野 カツコ	13. 4. 1~15. 3. 31
ジェンダー 研 究 セ ン タ ー 長	波 平 恵 美 子	
生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 長	近 藤 和 雄	
留 学 生 セ ン タ ー 長	福 田 豊	
事 務 局 長	秋 山 弘	

学務委員会 (学務課)

官職等	氏 名	任 期
副 学 長 (教育・厚生 補導担当)	*市 古 夏 生	
評 議 員	安 田 次 郎	
	菅 本 晶 夫	
	戒 能 民 江	
文教育学部 選 出 委 員	松 崎 毅	13. 4. 1~15. 3. 31
	熊 谷 圭 知	14. 4. 1~16. 3. 31
理 学 部 選 出 委 員	小 林 功 佳	13. 4. 1~15. 3. 31
	山 田 眞 二	14. 4. 1~16. 3. 31
生活科学部 選 出 委 員	鈴 木 恵 美 子	13. 4. 1~15. 3. 31
	永 瀬 伸 子	14. 4. 1~16. 3. 31

Faculty Development 委員会 (学務課)

官職等	氏 名	任 期
副 学 長 (教育・厚生 補導担当)	*市 古 夏 生	
副 学 長 (研究・企画 担当)	松 本 勲 武	
評 議 員	羽 入 佐 和 子	
	菅 本 晶 夫	
	久 保 田 紀 久 枝	
	内 田 伸 子	
文教育学部 選 出 委 員	内 田 忠 賢	14. 4. 1~16. 3. 31
理 学 部 選 出 委 員	今 野 美 智 子	
生活科学部 選 出 委 員	杉 田 孝 夫	
大学院人間 文化研究科 選 出 委 員	坂 元 章	

学生委員会 (学生課)

官職等	氏名	任期
副学長 (教育・厚生 補導担当)	*市古夏生	
評議員	羽入佐和子	
	久保田紀久枝	
文教育学部 選出委員	天野知香	13. 4. 1~16. 3. 31
理学部 選出委員	浅田 徹	14. 9. 11~16. 3. 31
生活科学部 選出委員	吉田裕亮	13. 4. 1~15. 3. 31
	武次徹也	14. 4. 1~16. 3. 31
大学院人間 文化研究科 選出委員	吉村佳子	13. 4. 1~15. 3. 31
	太田裕治	14. 4. 1~16. 3. 31
大学院人間 文化研究科 選出委員	安成英樹	13. 4. 1~15. 3. 31
	小林哲幸	
	村田容常	

共用体育施設等管理運営委員会 (学生課)

官職等	氏名	任期
副学長 (教育・厚生 補導担当)	*市古夏生	
附属 学校部長	田宮兵衛	
文教育学部 選出委員	新名謙二	14. 4. 1~16. 3. 31
会計課長	加藤妙子	
学生課長	松井照雄	

学生相談室運営委員会 (学生課)

官職等	氏名	任期
学生相談 室長	*市古夏生	
文教育学部 選出委員	箕浦康子	14. 4. 1~16. 3. 31
理学部 選出委員	前田ミチエ	
生活科学部 選出委員	青木紀久代	
大学院人間 文化研究科 選出委員	藤田宗和 羽入佐和子	
学生課長	松井照雄	

保健管理センター運営委員会 (学生課)

官職等	氏名	任期
保健管理 センター 長	*森田 寛	
副学長 (教育・厚生 補導担当)	市古夏生	
文教育学部 選出委員	水村真由美	13. 4. 1~15. 3. 31
理学部 選出委員	新名謙二	14. 4. 1~16. 3. 31
生活科学部 選出委員	前田ミチエ	13. 4. 1~15. 3. 31
	富永靖徳	14. 4. 1~16. 3. 31
大学院人間 文化研究科 選出委員	脊山洋右	13. 4. 2~15. 3. 31
	青木紀久代	14. 4. 1~16. 3. 31
附属学校 選出委員	近藤和雄	13. 4. 1~15. 3. 31
事務局長	渡邊満美	14. 4. 1~16. 3. 31
	秋山 弘	

入学試験委員会 (入試課)

官職等	氏名	任期
学長	* 本田 和子	
副学長 (研究・企画 担当)	松本 勲 武	
副学長 (教育・厚生 補導担当)	市古 夏生	
文教育学部 部長	土屋 賢 二	
理学部長	室伏 きみ子	
生活科学 部 長	本間 清 一	
大学院 人間文化 研究科長	平野 由紀子	
事務局長	秋山 弘	

入学者選抜方法研究委員会 (入試課)

官職等	氏名	任期
副学長 (教育・厚生 補導担当)	* 市古 夏生	
評議員	菅本 晶 夫	
	安田 次 郎	
	久保田 紀久枝	
文教育学部 選出委員	勝野 正 章	14. 4. 1~16. 3. 31
理学部 選出委員	三輪 建 二	13. 4. 1~15. 3. 31
理学部 選出委員	益田 祐 一	14. 4. 1~16. 3. 31
理学部 選出委員	榎本 陽 子	13. 4. 1~15. 3. 31
生活科学部 選出委員	藤崎 宏 子	14. 4. 1~16. 3. 31
生活科学部 選出委員	藤原 葉 子	13. 4. 1~15. 3. 31

学部入試実施委員会 (入試課)

官職等	氏名	任期
副学長 (教育・厚生 補導担当)	* 市古 夏生	
文教育学部 部長	土屋 賢 二	
理学部長	室伏 きみ子	
生活科学 部 長	本間 清 一	
文教育学部 選出委員	勝野 正 章	14. 4. 1~16. 3. 31
文教育学部 選出委員	三浦 謙	13. 4. 1~15. 3. 31
理学部 選出委員	益田 祐 一	14. 4. 1~16. 3. 31
理学部 選出委員	榎本 陽 子	13. 4. 1~15. 3. 31
生活科学部 選出委員	藤崎 宏 子	14. 4. 1~16. 3. 31
生活科学部 選出委員	藤原 葉 子	13. 4. 1~15. 3. 31
事務局長	秋山 弘	

博士前期課程入試委員会 (入試課)

官職等	氏名	任期
副学長 (教育・厚生 補導担当)	* 市古 夏生	
大学院 人間文化 研究科長	平野 由紀子	
評議員	内田 伸子	
言語文化 専攻 選出委員	伊藤 美重子	13. 4. 1~15. 3. 31
人文学専攻 選出委員	佐藤 光子	
発達社会科 学専攻 選出委員	黒田 淑子	14. 4. 1~15. 3. 31
	水野 勲	
ライフサイ エンス専攻 選出委員	大瀧 雅 寛	13. 4. 1~15. 3. 31
	加藤 美砂子	
物質科学 専攻 選出委員	益田 祐 一	
数理・情報 科学専攻 選出委員	松崎 克彦	14. 4. 1~15. 3. 31

博士後期課程入試委員会 (入試課)

官職等	氏 名	任 期
副学長 (教育・厚生 補導担当)	*市古夏生	
大学院文化 人間文化 研究科長	平野由紀子	
評議員	富永靖徳	
比較社会 文化学専攻 選出委員	新井由紀夫 竹村和子	13. 4. 1~15. 3. 31
国際日本学 専攻 選出委員	内田忠賢 菅 聡子	
人間発達科 学専攻 選出委員	酒井 朗 伊藤美奈子	
人間環境科 学専攻 選出委員	仲西 正 千葉和義	
複合領域科 学専攻 選出委員	吉田裕亮 山田真二	

留学生センター運営委員会 (留学生課)

官職等	氏 名	任 期
留学生 センター長	*福田 豊	
留学生セン ター教授	村松 賢一	
留学生セン ター教授	庄司 恵雄	
留学生セン ター助教授	佐々木 泰子	
留学生セン ター助教授	加賀美 常美代	
留学生セン ター助教授	森山 新	
文教育学部 選出委員	箕浦 康子 小風 秀雅	13. 4. 1~15. 3. 31
理学部 選出委員	芦原 坦 鷹野 景子	
生活科学部 選出委員	小谷 眞男 柴坂 寿子	
大学院人間 文化研究科 選出委員	駒城 素子 大塚 常樹	14. 4. 1~15. 3. 31 13. 4. 1~15. 3. 31

附属図書館運営委員会 (附属図書館事務部)

官職等	氏名	任期
附属図書館長	*藤原正彦	
文教育学部 選出委員	浅田 徹	14. 4. 1~16. 3. 31
	清水 徹郎	14. 10. 1~16. 9. 30
理学部 選出委員	浅本紀子	14. 4. 1~16. 3. 31
	馬場 昭次	14. 10. 1~16. 3. 31
生活科学部 選出委員	藤田 宗和	14. 4. 1~16. 3. 31
	松浦 秀治	13. 4. 1~15. 3. 31
大学院人間文化研究科 選出委員	村田 真弓	13. 6. 1~15. 5. 31
	塚田 和美	
ジェンダー研究センター 選出委員	伊藤 るり	14. 4. 1~16. 3. 31
情報処理センター長	佐藤 浩史	

理学部附属臨海実験所運営委員会 (研究科・学部事務部)

官職等	氏名	任期
理学部長	*室伏 きみ子	
理学部附属臨海実験所長	根本 心一	
理学部附属臨海実験所員	清本 正人	
理学部 選出委員	富永 靖徳	14. 4. 1~16. 3. 31
	今野 美智子	
	山下 貴司	
文教育学部 選出委員	栗原 尚子	13. 4. 1~15. 3. 31
	内藤 博夫	
生活科学部 選出委員	畑江 敬子	14. 4. 1~16. 3. 31
	近藤 和雄	
会計課長	加藤 妙子	
施設課長	外山 信豊	

理学部放射化学実験室運営委員会 (研究科・学部事務部)

官職等	氏名	任期
理学部長	*室伏 きみ子	
放射化学実験室長	今野 美智子	
放射線取扱主任者	古田 悦子	
理学部 選出委員	浜谷 望	14. 10. 1~16. 9. 30
	小川 温子	
	宮本 泰則	
生活科学部 選出委員	藤原 葉子	13. 10. 1~15. 9. 30
生活環境研究センター 選出委員	大塚 讓	

理学部極低温実験室運営委員会 (研究科・学部事務部)

官職等	氏名	任期
理学部長	*室伏 きみ子	
極低温実験室長	浜谷 望	
理学部 選出委員	富永 靖徳	13. 4. 1~15. 3. 31
	永野 肇	14. 4. 1~16. 3. 31
	芦原 坦	
生活科学部 選出委員	畑江 敬子	

附属学校委員会 (附属学校部)

官職等	氏名	任期
附属 学校部長	* 田 宮 兵 衛	
文教育学部 選出委員	高 島 元 洋	14. 4. 1 ~ 15. 3. 31
理学部 選出委員	根 本 心 一	14. 4. 1 ~ 16. 3. 31
生活科学部 選出委員	宮 田 敬 一	14. 4. 1 ~ 16. 3. 31
大学院人間 文化研究科 選出委員	耳 塚 寛 明	13. 4. 1 ~ 15. 3. 31
事務局長	秋 山 弘	
附属 小学校長	無 藤 隆	
附属 中学校長	小 川 昭 二 郎	
附属 高等学校長	鷹 野 光 行	
附属 幼稚園長	片 岡 康 子	
附属 小学校教頭	黒 部 善 之	
附属 中学校教頭	佐々木 和 枝	
附属 高等学 校教頭	高 橋 通 泰	
附属 幼稚園教頭	松 井 と し	

附属学校教育研究委員会 (附属学校部)

官職等	氏名	任期
附属 学校部長	* 田 宮 兵 衛	
文教育学部 選出委員	勝 野 正 章	
理学部 選出委員	根 本 心 一	14. 4. 1 ~ 16. 3. 31
生活科学部 選出委員	伊 藤 亜 矢 子	
大学院人間 文化研究科 選出委員	内 藤 俊 史	13. 4. 1 ~ 15. 3. 31
附属小学校 選出委員	成 田 信 子	13. 4. 1 ~ 15. 3. 31
	長 坂 利 厚	14. 4. 1 ~ 16. 3. 31
附属中学校 選出委員	関 根 令 夫	14. 4. 1 ~ 16. 3. 31
	小 泉 薫	13. 4. 1 ~ 15. 3. 31
附属 高等学 校選出委員	田 中 京 子	13. 4. 1 ~ 15. 3. 31
	村 野 光 則	14. 4. 1 ~ 16. 3. 31
附属幼稚園 選出委員	上坂元 絵 里	13. 4. 1 ~ 15. 3. 31
	伊集院 理 子	14. 4. 1 ~ 16. 3. 31

○学 科 主 任

学 部	学 科 等	職 名	氏 名
文 教 育 学 部	人 文 科 学 科	助 教 授	三 浦 謙
	言 語 文 化 学 科	教 授	西 尾 道 子
	人 間 社 会 科 学 科	〃	内 藤 俊 史
	芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科	〃	林 廣 子
理 学 部	数 学 科	教 授	塚 田 和 美
	物 理 学 科	〃	小 林 功 佳
	化 学 科	〃	堀 佳 也 子
	生 物 学 科	〃	松 浦 悦 子
	情 報 科 学 科	〃	佐 藤 浩 史
生 活 科 学 部	生 活 環 境 学 科	〃	脊 山 洋 右
	人 間 生 活 学 科	〃	徳 井 淑 子

○専 攻 長

課 程	専 攻	職 名	氏 名
博 士 前 期 課 程	言 語 文 化 専 攻	教 授	相 原 茂
	人 文 学 専 攻	〃	片 岡 康 子
	発 達 社 会 科 学 専 攻	〃	田 宮 兵 衛
	ラ イ フ サ イ エ ン ス 専 攻	〃	芦 原 坦
	物 質 科 学 専 攻	〃	浜 谷 望
	数 理 ・ 情 報 科 学 専 攻	〃	藤 代 一 成
博 士 後 期 課 程	比 較 社 会 文 化 学 専 攻	教 授	窪 添 慶 文
	国 際 日 本 学 専 攻	〃	小 風 秀 雅
	人 間 発 達 科 学 専 攻	〃	牧 野 カ ツ コ
	人 間 環 境 科 学 専 攻	〃	脊 山 洋 右
	複 合 領 域 科 学 専 攻	〃	佐 藤 浩 史

新任部局長紹介

文教育学部長

(任期 平成14年10月1日～平成16年9月30日)



氏 名 土 屋 賢 二

生年月日 昭和19年11月26日

専 攻 哲 学

〔略 歴〕

昭和42年	3月	東京大学文学部卒業
昭和45年	3月	同 大学院人文科学研究科修士課程修了
昭和48年	3月	同 大学院人文科学研究科博士課程退学
昭和48年	4月	同 文学部助手
昭和50年	4月	お茶の水女子大学文教育学部講師
昭和54年	3月	同 助教授
平成元年	10月	同 教授

〔モ ッ ト ー〕

①正しいと思ったことは最後までやり通せ。②自分が正しいと思ったことはすべて誤りだと思え。

〔趣 味〕

モダンジャズ、ミステリ

〔就任の言葉〕

最近になって発見したのですが、人間には二種類あると思います。学部長に向いているタイプと、繊細なタイプの二種類です。

学部長に向いているタイプは、学部長を務めれば務めるほど顔色がますますツヤツヤして体重が増えるタイプです。学部長でいる間は青酸カリを飲んでも死にません。どんな重病に罹っても、学部長になると完治します。

残念ながら、わたしは繊細なタイプです。学部長になってからしばらくたちますが、身体は弱る一方です。いまだに生きているのが不思議なほどです。すでに五十年前から、学部長に向けて虚弱化が進行してきました。明らかに学部長の仕事には向いていません。

わたしのような人間がなぜ学部長に選ばれたのか、不可解でなりません。理由は色々考えられます。わたし自身は気がついていないのですが、もしかしたらわたしは信頼できる人間なのかもしれないとか、ほかにロクな人材がいないのかもしれない、などと考えましたが、どれも違うようです(多くの人がそう断言しました)。不本意ですが、顔で選ばれたとしか考えられません。

たぶん、わたしは繊細で自信のもてないタイプなのだと思います。

人 事

○人事異動

発令年月日	氏 名	官 職 等	異動前の所属・職名
◇退職			
H14. 9. 30	道須 利一	退職承認	会計課
H14. 10. 30	矢加部 英敏	勸奨	事務局長
◇採用			
H14. 10. 1	佐々木 成江	助手 (理学部)	
H14. 10. 1	藤江 康彦	講師 (生活科学部)	
H14. 10. 1	佐藤 陽子	会計課 (事務情報化担当専門職員付)	
H14. 10. 1	佐々木 幸一	会計課 (国有財産担当専門職員付)	
H14. 10. 16	山崎 智士	総務課総務係	
H14. 10. 16	高木 圭介	総務課人事係	
◇昇任			
H14. 10. 1	富士原 紀絵	助教授 (文教育学部)	講師 (秋田大学)
H14. 10. 1	鈴木 佳苗	講師 (筑波大学図書館情報学系)	助手 (大学院人間文化研究科)
◇転任			
H14. 9. 1	庄司 恵雄	教授 (留学生センター)	教授 (群馬大学留学生センター)
H14. 10. 1	脇元 幸嗣	学務課専門職員	鹿屋体育大学学生課専門職員
H14. 10. 1	市川 哲彦	助教授 (山口大学メディア基盤センター)	助教授 (理学部)
◇併任			
H14. 10. 1	土屋 賢二	文教育学部長 併任期間 平成16年9月30日	(文教育学部教授)
H14. 10. 1	市川 哲彦	理学部助教授 併任期間 平成15年3月31日	助教授 (山口大学メディア基盤センター)
◇併任解除			
H14. 10. 1	村上 恭二	学務課専門職員	(学務課課長補佐)
◇休職			
H14. 9. 19	濱村 知枝	休職期間更新 期間 平成14年12月31日	(総務課)
H14. 10. 1	松下 雅彦	休 職 期間 平成14年12月31日	(総務課)
◇任命			
H14. 9. 1	向江 芳樹	附属学校評議員 併任期間 平成16年3月31日	
◇公の名称			
H14. 10. 30	下田 勝	事務局長事務取扱	(総務課長)

◎非常勤講師

発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
◇ 採用				
H14.9.1	金子 佳代子	講師 (大学院人間文化研究科)	H14.9.30	横浜国立大学教授
H14.9.1	鈴木 典子	講師 (附属高等学校)	H15.3.31	
H14.9.1	野口 恵美	講師 (附属中学校)	H15.3.31	
H14.9.1	後藤 真理	講師 (附属中学校)	H15.3.31	
H14.9.1	戸次 佳子	講師 (附属小学校)	H14.11.30	
H14.9.1	井梅 由美子	講師 (附属小学校)	H15.3.31	
H14.9.1	山形 明子	講師 (附属小学校)	H15.3.31	
H14.9.1	渡辺 安寿砂	講師 (附属小学校)	H15.3.31	
H14.10.1	大原 まゆみ	講師 (文教育学部)	H15.3.31	明治学院大学教授
H14.10.1	岡村 多佳夫	講師 (文教育学部)	H15.3.31	東京造形大学教授
H14.10.1	仲町 啓子	講師 (文教育学部)	H15.3.31	実践女子大学教授
H14.10.1	宮内 寿子	講師 (文教育学部)	H15.3.31	
H14.10.1	太田 雅子	講師 (文教育学部)	H15.3.31	
H14.10.1	松尾 有里子	講師 (文教育学部)	H15.3.31	
H14.10.1	加藤 厚子	講師 (文教育学部)	H15.3.31	
H14.10.1	兼重 賢太郎	講師 (文教育学部)	H15.3.31	(財)計量計画研究所研究員
H14.10.1	谷川 尚哉	講師 (文教育学部)	H15.3.31	中央学院大学講師
H14.10.1	山脇 啓造	講師 (文教育学部)	H15.3.31	明治大学助教授
H14.10.1	寄藤 昂	講師 (文教育学部)	H15.3.31	中京女子大学研究員
H14.10.1	中村 久美子	講師 (文教育学部)	H15.3.31	
H14.10.1	西條 勉	講師 (文教育学部)	H15.3.31	専修大学教授
H14.10.1	川村 裕子	講師 (文教育学部)	H15.3.31	新潟産業大学教授
H14.10.1	胡 潔	講師 (文教育学部)	H15.3.31	
H14.10.1	西川 葉澄	講師 (文教育学部)	H15.3.31	
H14.10.1	宮下 治政	講師 (文教育学部)	H15.3.31	
H14.10.1	椎野 信雄	講師 (文教育学部)	H15.3.31	文教大学助教授
H14.10.1	白藤 博行	講師 (文教育学部)	H15.3.31	専修大学教授
H14.10.1	山森 亮	講師 (文教育学部)	H15.3.31	東京都立大学専任講師
H14.10.1	青木 豊	講師 (文教育学部)	H15.3.31	國學院大学考古学資料館学芸員
H14.10.1	井上 敏	講師 (文教育学部)	H15.3.31	桃山学院大学講師
H14.10.1	岡崎 友典	講師 (文教育学部)	H15.3.31	放送大学助教授
H14.10.1	坂田 仰	講師 (文教育学部)	H15.3.31	日本女子大学助教授
H14.10.1	田中 雅文	講師 (文教育学部)	H15.3.31	日本女子大学助教授
H14.10.1	棚橋 訓	講師 (文教育学部)	H15.3.31	東京都立大学助教授
H14.10.1	藤本 典裕	講師 (文教育学部)	H15.3.31	東洋大学助教授
H14.10.1	宮坂 琇子	講師 (文教育学部)	H15.3.31	東海大学教授
H14.10.1	矢野 博之	講師 (文教育学部)	H15.3.31	
H14.10.1	水崎 富美	講師 (文教育学部)	H15.3.31	
H14.10.1	明田 芳久	講師 (文教育学部)	H15.3.31	上智大学教授
H14.10.1	大日向 雅美	講師 (文教育学部)	H15.3.31	恵泉女学園大学教授
H14.10.1	高比良 美詠子	講師 (文教育学部)	H15.3.31	
H14.10.1	仲 真紀子	講師 (文教育学部)	H15.3.31	東京都立大学助教授
H14.10.1	星野 征男	講師 (文教育学部)	H15.3.31	
H14.10.1	押谷 由夫	講師 (文教育学部)	H15.3.31	昭和女子大学短期大学部教授
H14.10.1	薬師神 玲子	講師 (文教育学部)	H15.3.31	青山学院大学講師
H14.10.1	勝部 知子	講師 (文教育学部)	H15.3.31	
H14.10.1	田中 博史	講師 (文教育学部)	H15.3.31	大東文化大学講師

発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
H14.10.1	林 奈々	講師 (文教育学部)	H15.3.31	
H14.10.1	田崎 ほづ枝	講師 (文教育学部)	H15.3.31	
H14.10.1	薦田 治子	講師 (文教育学部)	H15.3.31	武蔵野音楽大学助教授
H14.10.1	功刀 直子	講師 (理学部)	H15.3.31	
H14.10.1	官島 静雄	講師 (理学部)	H15.3.31	東京理科大学教授
H14.10.1	大野 修一	講師 (理学部)	H15.3.31	日本工業大学助教授
H14.10.1	大下 範幸	講師 (理学部)	H15.3.31	
H14.10.1	車 俊之	講師 (理学部)	H15.3.31	
H14.10.1	鈴木 健司	講師 (理学部)	H15.3.31	
H14.10.1	田中 直子	講師 (理学部)	H15.3.31	帝京大学助手
H14.10.1	藁袋 佳孝	講師 (理学部)	H15.3.31	武蔵大学教授
H14.10.1	鈴木 惟司	講師 (理学部)	H15.3.31	東京都立大学助教授
H14.10.1	溝口 元	講師 (理学部)	H15.3.31	立正大学教授
H14.10.1	入江 正之	講師 (生活科学部)	H15.3.31	早稲田大学教授
H14.10.1	塩谷 正樹	講師 (生活科学部)	H15.3.31	鹿島建設(株)技術研究所主管研究員
H14.10.1	山口 静子	講師 (生活科学部)	H15.3.31	東京農業大学教授
H14.10.1	近藤 昊	講師 (生活科学部)	H15.3.31	(財)東京都高齢者研究・福祉振興財団東京都老人総合研究所主任研究員
H14.10.1	真家 和生	講師 (生活科学部)	H15.3.31	大妻女子大学助教授
H14.10.1	阿部 隆明	講師 (生活科学部)	H15.3.31	自治医科大学講師
H14.10.1	大塚 公一郎	講師 (生活科学部)	H15.3.31	自治医科大学講師
H14.10.1	小山 真弓	講師 (生活科学部)	H15.3.31	
H14.10.1	加藤 敏	講師 (生活科学部)	H15.3.31	自治医科大学助教授
H14.10.1	上垣市 伸子	講師 (生活科学部)	H15.3.31	十文字学園女子短期大学助教授
H14.10.1	菅野 純	講師 (生活科学部)	H15.3.31	早稲田大学教授
H14.10.1	高野 謙二	講師 (生活科学部)	H15.3.31	自治医科大学助教授
H14.10.1	西嶋 康一	講師 (生活科学部)	H15.3.31	自治医科大学助教授
H14.10.1	福丸 由佳	講師 (生活科学部)	H15.3.31	聖徳大学専任講師
H14.10.1	臼井 和恵	講師 (生活科学部)	H15.3.31	相模女子大学短期大学部教授
H14.10.1	久木元 真吾	講師 (生活科学部)	H15.3.31	財団法人家計経済研究所研究員
H14.10.1	園田 真理子	講師 (生活科学部)	H15.3.31	明治大学助教授
H14.10.1	高月 昭年	講師 (生活科学部)	H15.3.31	明海大学教授
H14.10.1	竹中 千春	講師 (生活科学部)	H15.3.31	明治学院大学教授
H14.10.1	安田 憲司	講師 (生活科学部)	H15.3.31	特殊法人国民生活センター主任研究員
H14.10.1	伊藤 亜紀	講師 (生活科学部)	H15.3.31	
H14.10.1	梅谷 知世	講師 (生活科学部)	H15.3.31	
H14.10.1	成田 汀	講師 (生活科学部)	H15.3.31	
H14.10.1	藤井 享子	講師 (生活科学部)	H15.3.31	
H14.10.1	高橋 晃子	講師 (生活科学部)	H15.3.31	静岡文化芸術大学教授
H14.10.1	高橋 和夫	講師 (生活科学部)	H15.3.31	放送大学助教授
H14.10.1	古井戸 秀夫	講師 (大学院人間文化研究科)	H15.3.31	早稲田大学教授
H14.10.1	忽滑谷 和孝	講師 (大学院人間文化研究科)	H15.3.31	東京慈恵医科大学附属病院講師
H14.10.1	内藤 和美	講師 (大学院人間文化研究科)	H15.3.31	群馬パーク看護短期大学教授
H14.10.1	小田 亮	講師 (大学院人間文化研究科)	H15.3.31	成城大学助教授
H14.10.1	奥山 博康	講師 (大学院人間文化研究科)	H15.3.31	清水建設(株)技術研究所主席研究員
H14.10.1	辻 勉	講師 (大学院人間文化研究科)	H15.3.31	星薬科大学教授
H14.10.1	石井 啓策	講師 (大学院人間文化研究科)	H15.3.31	
H14.10.1	清木 康	講師 (大学院人間文化研究科)	H15.3.31	慶應義塾大学教授
H14.10.1	長坂 水晶	講師 (留学生センター)	H15.3.31	国際交流基金日本語教育センター専任講師
H14.10.1	岩崎 香織	講師 (附属高等学校)	H15.3.31	

発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
H14.10.1	村松 さやか	講師 (附属高等学校)	H15.3.31	
H14.10.1	工藤 春子	講師 (附属高等学校)	H15.3.31	
H14.10.1	工藤 春子	講師 (附属中学校)	H14.11.1	
H14.10.1	オーリ リチャ	講師 (附属中学校)	H15.3.31	
H14.10.1	高木 紘二郎	講師 (附属中学校)	H15.3.31	
H14.10.1	竹之内 優作	講師 (附属中学校)	H15.3.31	
H14.10.1	坂本 明美	講師 (附属小学校)	H15.3.31	
H14.10.15	浅野 志津子	講師 (附属小学校)	H15.3.31	
H14.10.15	福池 秋水	講師 (附属中学校)	H15.3.31	
H14.10.15	三木 ひろみ	講師 (附属中学校)	H15.3.31	
H14.10.15	田中 陽子	講師 (附属中学校)	H15.3.31	
H14.10.15	金子 史央	講師 (附属中学校)	H15.3.31	
H14.10.15	中村 あすか	講師 (附属中学校)	H15.3.31	
H14.10.15	坪井 瞳	講師 (附属幼稚園)	H15.3.31	
H14.10.16	中桐 典子	講師 (文教育学部)	H15.3.31	

◇任用更新

H14.10.1	武田 祐子	講師 (文教育学部)	H15.3.31	東京都立大学助手
H14.10.1	久保木 倫子	講師 (理学部)	H15.3.31	
H14.10.1	井内 麻矢子	講師 (留学生センター)	H15.3.31	

◇併任

H14.10.1	早乙女 雅博	講師 (文教育学部)	H15.3.31	東京大学助教授
H14.10.1	鶴田 啓	講師 (文教育学部)	H15.3.31	東京大学助教授
H14.10.1	鳥谷 均	講師 (文教育学部)	H15.3.31	独立行政法人農業環境技術研究所地球環境部気象研究グループ研究リーダー
H14.10.1	金田 章宏	講師 (文教育学部)	H15.3.31	千葉大学助教授
H14.10.1	今野 喜和人	講師 (文教育学部)	H15.3.31	静岡大学教授
H14.10.1	奥山 敏雄	講師 (文教育学部)	H15.3.31	筑波大学助教授
H14.10.1	柴田 徳太郎	講師 (文教育学部)	H15.3.31	東京大学教授
H14.10.1	菊地 栄治	講師 (文教育学部)	H15.3.31	国立教育政策研究所総括研究官
H14.10.1	中田 康彦	講師 (文教育学部)	H15.3.31	一橋大学助教授
H14.10.1	西島 央	講師 (文教育学部)	H15.3.31	東京大学助手
H14.10.1	大多和 直樹	講師 (文教育学部)	H15.3.31	東京大学助手
H14.10.1	落合 優	講師 (文教育学部)	H15.3.31	横浜国立大学教授
H14.10.1	杉原 隆	講師 (文教育学部)	H15.3.31	東京学芸大学教授
H14.10.1	戸部 秀之	講師 (文教育学部)	H15.3.31	埼玉大学助教授
H14.10.1	森 司朗	講師 (文教育学部)	H15.3.31	東京学芸大学助教授
H14.10.1	大上 慎吾	講師 (理学部)	H15.3.31	一橋大学助教授
H14.10.1	中井 俊一	講師 (理学部)	H15.3.31	東京大学地震研究所助教授
H14.10.1	林 利彦	講師 (理学部)	H15.3.31	東京大学教授
H14.10.1	菅原 康剛	講師 (理学部)	H15.3.31	埼玉大学教授
H14.10.1	本川 達雄	講師 (理学部)	H15.3.31	東京工業大学教授
H14.10.1	守 隆夫	講師 (理学部)	H15.3.31	東京大学教授
H14.10.1	大武 信之	講師 (理学部)	H15.3.31	筑波技術短期大学助教授
H14.10.1	鷹野 澄	講師 (理学部)	H15.3.31	東京大学地震研究所助教授
H14.10.1	本位田 真一	講師 (理学部)	H15.3.31	国立情報学研究所教授
H14.10.1	三宅 洋一	講師 (理学部)	H15.3.31	千葉大学教授
H14.10.1	吉田 稔	講師 (理学部)	H15.3.31	電気通信大学助教授

発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
H14.10.1	鹿島 亮	講師 (理学部)	H15.3.31	東京工業大学助教授
H14.10.1	高木 浩光	講師 (理学部)	H15.3.31	独立行政法人産業技術総合研究所研究1-A長
H14.10.1	大山 秀子	講師 (生活科学部)	H15.3.31	独立行政法人産業技術総合研究所主任研究員
H14.10.1	薩本 弥生	講師 (生活科学部)	H15.3.31	横浜国立大学助教授
H14.10.1	西 敏夫	講師 (生活科学部)	H15.3.31	東京大学教授
H14.10.1	谷田貝 麻美	講師 (生活科学部)	H15.3.31	千葉大学助教授
H14.10.1	大村 知子	講師 (生活科学部)	H15.3.31	静岡大学教授
H14.10.1	西村 敏英	講師 (生活科学部)	H15.3.31	広島大学教授
H14.10.1	山中 英明	講師 (生活科学部)	H15.3.31	東京水産大学教授
H14.10.1	佐藤 俊	講師 (生活科学部)	H15.3.31	筑波大学教授
H14.10.1	山本 啓一	講師 (生活科学部)	H15.3.31	千葉大学教授
H14.10.1	榎原 弘二郎	講師 (生活科学部)	H15.3.31	埼玉大学教授
H14.10.1	内野 正幸	講師 (生活科学部)	H15.3.31	筑波大学教授
H14.10.1	大築 立志	講師 (大学院人間文化研究科)	H15.3.31	東京大学教授
H14.10.1	生島 浩	講師 (大学院人間文化研究科)	H15.3.31	福島大学教授
H14.10.1	倉田 祥一朗	講師 (大学院人間文化研究科)	H15.3.31	東北大学助教授
H14.10.1	松原 隆彦	講師 (大学院人間文化研究科)	H15.3.31	名古屋大学助教授
H14.10.16	武笠 行雄	講師 (文教育学部)	H15.3.31	電気通信大学助教授

◇兼担

H14.10.1	佐々木 善子	講師 (文教育学部)	H15.3.31	附属中学校教諭
H14.10.1	荻原 万紀子	講師 (文教育学部)	H15.3.31	附属高等学校教諭
H14.10.1	福田 正恒	講師 (文教育学部)	H15.3.31	附属中学校教諭
H14.10.1	流田 直	講師 (文教育学部)	H15.3.31	附属小学校教諭
H14.10.1	成田 信子	講師 (文教育学部)	H15.3.31	附属小学校教諭
H14.10.1	遠藤 修一郎	講師 (文教育学部)	H15.3.31	附属小学校教諭
H14.10.1	沖山 義光	講師 (理学部)	H15.3.31	附属高等学校教諭
H14.10.1	茶園 幸子	講師 (理学部)	H15.3.31	附属高等学校教諭
H14.10.1	室岡 和彦	講師 (理学部)	H15.3.31	附属高等学校教諭
H14.10.1	石井 朋子	講師 (理学部)	H15.3.31	附属高等学校教諭
H14.10.1	磯貝 文男	講師 (理学部)	H15.3.31	附属高等学校教諭
H14.10.1	栗原 恵美子	講師 (生活科学部)	H15.3.31	附属中学校教諭
H14.10.1	田中 京子	講師 (生活科学部)	H15.3.31	附属高等学校教諭
H14.10.1	舘 かおる	講師 (生活科学部)	H15.3.31	ジェンダー研究センター教授
H14.10.1	吉原 雅子	講師 (文教育学部)	H15.3.31	大学院人間文化研究科助手

◇連携

H14.10.1	小泉 英明	講師 (大学院人間文化研究科教授)	(株) 日立製作所主管研究長
H14.10.1	黒川 清	講師 (大学院人間文化研究科教授)	東海大学総合医学研究所長
		任期 平成15年3月31日	
		任期 平成15年3月31日	

◎退職

H14.9.30	丸山 剛史	講師 (附属中学校)	
----------	-------	------------	--

◎外国人教師

発令年月日	氏名	契約期間	異動区分
H14.9.7	クロジアー・アラン	新規 H14.9.7~14.10.8	契約

◎非常勤職員

発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
◇ 採用				
H14.9.1	宇多 いずみ	教務補佐員 (生活科学部)	H15.3.31	
H14.9.17	大竹 安子	臨時用務員 (附属小学校)	H15.3.31	
H14.10.1	福田 洋子	事務補佐員 (入試課)	H15.3.31	
H14.10.1	斉藤 節子	事務補佐員 (附属図書館)	H15.2.28	
H14.10.1	松永 聖子	教務補佐員 (文教育学部)	H15.3.31	
H14.10.1	中澤 智子	教務補佐員 (文教育学部)	H15.3.31	
H14.10.1	新實 五穂	事務補佐員 (生活科学部)	H15.3.31	
H14.10.1	新實 五穂	研究員 (科学研究費) (生活科学部)	H15.2.28	
H14.10.1	村松 さやか	事務補佐員 (生活科学部)	H15.3.31	
H14.10.1	後藤 朋子	教務補佐員 (大学院人間文化研究科)	H15.3.31	
H14.10.1	森 暁子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	内堀 奈保子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	朱 桂栄	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	谷野 悦代	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	秋田 有希湖	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	野呂 和香子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	宮崎 かおり	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	高槻 幸枝	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	樋口 久美子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	川手 尚江	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	喜藤 理恵	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	西村 未紗	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	家田 真由	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	町田 春子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	高野 千尋	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	鳥居 一美	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	坂口 紘子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	今井 綾乃	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	鈴木 尚子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	金子 光	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	矢野 恵	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	武田 理絵	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	馬渡 理奈	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	三木 絢子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	山本 綾子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	細川 保子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	佐々木 真弓	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	中川 理恵	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	滝澤 綾子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	今岡 千尋	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	堀之内 悦子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	谷口 陽子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	鈴木 伸子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	林 美善	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	李 志暎	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	小柳 志津	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	丹羽 さがの	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	

発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
H14.10.1	翟 宇华	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	中内 幸子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	竹沢 純子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	増田 潤子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	由比 良子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	今井 恵子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	中山 仁礼	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	津本 裕子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	清水 聖子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	浜田 麻友子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	大浦 瑞代	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	片岡 久美	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	岩村 茜	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	工藤 和恵	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	田中 恵理子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	宮下 和子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	赤木 愛美	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	正路 佐知子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	宗 佐和子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	伊永 陽子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	平野 範子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	関谷 ゆかり	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	伊藤 純子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	今泉 有喜	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	下村 優子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	松尾 未亜	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	上川合 朋恵	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	矢野 史子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	森本 由香	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	綱脇 倫子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	津田 聡美	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	味園 知子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	小林 ちはる	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	横田 聖美	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	松尾 江津子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.10	小林 君江	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.10	仵 晓敏	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.16	染谷 泰代	教務補佐員 (生活科学部)	H15.3.31	
H14.10.22	王 新穎	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	

◇ 任用更新

H14.10.1	中野 裕美子	教務補佐員 (文教育学部)	H15.3.31	
H14.10.1	和田 早苗	事務補佐員 (生活科学部)	H15.3.31	
H14.10.1	長嶺 倫子	事務補佐員 (生活科学部)	H15.3.31	
H14.10.1	村中 渚	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	西倉 実季	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	齊藤 彩	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	小池 圭美	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	武田 知子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	
H14.10.1	李 洙京	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H15.2.28	

発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
◇ 配置換				
H14.10.1	長谷部 比呂美	教務補佐員 (生活科学部)	H15.3.31	事務補佐員 (生活科学部)
H14.10.1	四宮 美帆	教務補佐員 (文教育学部)	H15.3.31	事務補佐員 (生活科学部)
◇ 退職				
発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
H14.9.30	清水 久見子	事務補佐員 (入試課)		
H14.9.30	相川 佳世	事務補佐員 (附属図書館)		
H14.9.12	金井 妙	事務補佐員 (附属図書館)		
H14.9.30	山田 泰教	教務補佐員 (理学部)		
H14.9.30	島田 祥子	教務補佐員 (大学院人間文化研究科)		
H14.9.30	新居田 純野	教務補佐員 (大学院人間文化研究科)		
H14.9.30	藤江 康彦	教務補佐員 (大学院人間文化研究科)		
H14.9.30	山田 泰教	教務補佐員 (大学院人間文化研究科)		

学 事

○ 平成15年度お茶の水女子大学文教育学部第3年次編入学生募集要項

お茶の水女子大学文教育学部では、広く社会に開かれたリフレッシュ教育の必要性、より高度の学習機会を求める女性の意欲の高まりに応えるため、平成8年度から下記のとおり、一般選抜並びに社会人特別選抜により、第3年次編入学生の募集をしています。

本学部は、人文科学・社会科学（一部自然科学を含む）の諸領域にわたる多彩な専門的研究成果を、総合的な視野から教授し、社会の諸分野で活躍する人材の育成に努めることを教育の基本方針としています。各学科が求める資質と能力を備え、強い学習意欲をもつ方々が、自己実現を目指した生涯学習の機会として利用されることを期待します。

お茶の水女子大学文教育学部学部履修概要

1. 履修方法及び課程の修了

- (1) 卒業するためには、本学文教育学部履修規程に定めるところにより、124単位以上を修得しなければならない。
- (2) 本学部に編入学前に在学した大学等において修得した単位については、本学部の定める基準に従って卒業要件単位として認定する。
- (3) 卒業に必要な単位を修得した者については、学士（人文科学）の学位を授与する。

2. 各学科の授業科目

学 科・コース		主 な 専 攻 科 目
人 文 学 科	哲学・倫理学 ・美術史	哲学概論、倫理学概論、形象分析学概論、西洋美術史、東洋美術史、 日本倫理思想史、西洋倫理思想史 他
	比較歴史学	東洋史概説、日本史研究法、西洋政治史、日本中世史演習、 考古学通論、史跡調査、歴史史料学 他
	地 理 学	地理学概説、開発地理学、経済地理学、地形学、気候環境論、 社会地理学、歴史地理学 他
言 語 文 学 科	日 本 語 ・ 日 本 文 学	日本古典文学史論、日本近代文学史論、日本語構造論概論、 日本文学概説、日本語史演習 他
	中 国 語 圏 言 語 文 化	中国語学概論、中国現代文学史、中国古典文学史、中国事情、 中国文化論、中国文学古典講読 他
	英 語 圏 言 語 文 化	英文学史、英文学特殊講義、英語学特殊講義、対照表現学、 第二言語教授法研究、英語圏言語文化論、英米事情 他
	仏 語 圏 言 語 文 化	近代仏文学演習、現代仏文学演習、仏語圏言語文化論、 仏語圏言語文化研究指導 他
人 間 社 会 学 科	社 会 学	ジェンダー論、現代社会論、社会調査法、比較社会論、 社会意識論、社会保障論 他
	教 育 科 学	教育思想概論、教育史概論、教育社会学概論、文化人類学概論、 生涯学習概論 他
	心 理 学	教育心理学概論、社会心理学概論、発達心理学概論、 臨床心理学概論、認知心理学概論 他
芸 術 行 ・ 動 表 学 現 科	舞 踊 教 育 学	舞踊芸術学、民族舞踊学、舞踊美学、スポーツ人間学、体育原理、 動作学 他
	音 楽 表 現	ピアノⅠ演習、声楽Ⅰ演習、音楽学概論、民族音楽学、 音楽行動概論 他

※ 上記授業科目以外に、専攻科目、関連科目が多数開講されている。

1. 一般選抜

1. 募集人員

学 科 ・ コ ー ス		募 集 人 員
人 文 科 学 科	哲学・倫理学・美術史コース	社会人特別選抜 とあわせて 10名
	比較歴史学コース	
	地理学コース	
言 語 文 化 学 科	日本語・日本文学コース	
	中国語圏言語文化コース	
	英語圏言語文化コース	
	仏語圏言語文化コース	
人 間 社 会 科 学 科	社会学コース	
	教育学コース	
	心理学コース	
芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科	舞踊教育学コース	
	音楽表現コース	

2. 出願資格

次のいずれかに該当する女子とする。

- (1) 大学を卒業した者及び平成15年3月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者及び平成15年3月卒業見込みの者
- (3) 高等専門学校を卒業した者及び平成15年3月卒業見込みの者
- (4) 平成15年3月31日までに本学以外の大学に2年以上在学している者で62単位以上修得見込みの者
- (5) 大学に2年以上在学し、62単位以上修得した者
(平成15年3月本学卒業見込みの者以外で本学に在学中の者は除く。)
- (6) 外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者及び修了見込みの者

3. 出願期間

平成14年11月5日(火)から平成14年11月8日(金)まで。(11月8日までの消印有効)

4. 出願手続

(1) 出願書類等

編入学願書	本学所定の用紙
履歴書	本学所定の用紙
志望理由書	本学所定の用紙
実技関係調査書	芸術・表現行動学科志願者のみ本学所定の用紙で提出すること。
卒業(見込)証明書、在学証明書、退学証明書のうちいずれか1通	
成績証明書	出身大学等の長が作成し厳封したもの。
単位修得見込証明書	(大学2・3年次在学中の者のみ) 出身大学で作成していない場合は、履修登録科目一覧表等の単位数の記載されているもののコピーでも可。
健康診断書	本学所定の用紙(出願時以前3ヶ月以内に作成したもの) 現在、大学・短大・高等専門学校等に在学中の者は、学校医による証明でも可とする。
検定料	30,000円〔郵便局振出しの普通為替証書(受取人指定欄に「お茶の水大学」とのみ記入すること。)]
受験票返送用封筒	本学所定の受験票返送用封筒に送付先を明記して、350円分の切手(速達料を含む。)を貼ること。
あて名シール2枚	結果通知の送付に使用するので、確実に連絡がとれる住所を記入すること。

(2) 出願方法

出願書類を一括して、必ず本学所定の出願用封筒を用い、「書留速達」で下記あてに郵送すること。

〔送付先〕 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学 入試課

5. 選 抜 方 法

選考は、次の第1次選考・第2次選考に分けて行う。

(1) 第 1 次 選 考

① 試 験 日 平成14年11月29日(金)

学 科		筆 記 試 験 10:30~12:00
人 文 学 科	哲学・倫理学・美術史コース	外国語(英・独・仏語の中から1か国語)を含む専門試験
	比較歴史学コース	英語を含む専門試験
	地 理 学 コ ー ス	英語を含む専門試験
言 語 文 化 学 科	日本語・日本文学コース	国語・国文学の専門試験
	中国語圏言語文化コース	現代中国語・古典中国語
	英語圏言語文化コース	英 語
	仏語圏言語文化コース	フランス語
人 間 社 会 学 科	社 会 学 コ ー ス	英語を含む専門試験
	教 育 学 科 コ ー ス	英語を含む専門試験
	心 理 学 コ ー ス	英語を含む専門試験・基礎統計学
芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科	舞 踊 教 育 学 コ ー ス	英語を含む専門試験
	音 楽 表 現 コ ー ス	音楽史・外国語(英・独・仏語の中から1か国語)

②第1次選考の結果

平成14年12月5日(木)に、第1次選考合格者には「第1次選考合格通知書」を、合格とならなかった者には「第1次選考結果通知書」を送付する。

なお、同日正午に本学入試課ホームページにも第1次選考合格者の受験番号を掲載する予定である。

入試課ホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

(2) 第 2 次 選 考

試 験 日 平成14年12月12日(木) 10時30分 ~

第1次選考合格者に対し、志望学科による口述試験及び実技検査(芸術・表現行動学科のみ)を行い、第1次選考の成績と口述及び実技検査の結果を総合して合否を判定する。

第2次選考日程の詳細は「第1次選考合格通知書」に同封し送付する。

実 技 検 査

- 芸術・表現行動学科「舞踊教育学コース」志望者に次の検査を行う。

1 必須課題

- ア. 舞踊・スポーツに必要な身体支配能力を見るための基礎運動
イ. 面接

2 選択課題

下記のア、イのいずれかを選択すること。

ア. 舞 踊 (下記の①と②を行う。)

- ① 既成作品：モダンダンス、バレエ、日本舞踊、民族舞踊や、マイム、新体操などの表現領域から作品を自由に選択し、1分以内に演じる。自作・他作どちらでも可。使用する音楽（カセットテープに録音のこと）を持参のこと。

- ② 創 作：課題は当日提示する。

イ. スポーツ (下記の①から③の全種目を行う。)

- ①バレーボール
②バスケットボール
③バドミントン

※ 実技検査に必要な服装、用具、靴（体育館シューズ及び各自選択課題に必要な靴）を持参のこと。

- 芸術・表現行動学科「音楽表現コース」志望者に次の検査を行う。

1. 必須課題

ア. 聴 音 : 1～2声部

イ. 新曲視唱 : 旋律のみ

ウ. 歌 唱 : イタリア古典歌曲（原語）より1曲自由選択し、暗譜で演奏すること。

なお、歌唱は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない）

エ. ピアノ : J. S. バッハ作曲の鍵盤音楽（3分以内）より1曲を自由選択し、暗譜で演奏すること。

2. 選択課題

次のア、イ、ウのいずれか一つを選ぶこと。

ア. 声楽演奏

下記のいずれか一方を選び、暗譜で演奏すること。

- ① 日本歌曲
② アリア（原語・原調）または外国歌曲（原語）

なお、声楽演奏は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない）

イ. ピアノ演奏

下記のいずれか一方を選び、暗譜で演奏すること。

- ① ベートーヴェンのピアノソナタから一つの楽章を自由選択（ただし、緩徐楽章を除く）
② ショパンのピアノ練習曲集（作品10、作品25）から2曲を自由選択

ウ. 声または任意の楽器による演奏

音楽様式は問わない（邦楽器、洋楽器など）

演奏に関する質疑応答を行う。楽譜使用可。演奏は受験者本人のみに限る。

II. 社会人特別選抜

1. 募集人員

学 科 ・ コ ー ス		募 集 人 員
人 文 学 科	哲学・倫理学・美術史コース	一般選抜と あわせて 10名
	比較歴史学コース	
	地理学コース	
言 語 文 化 学 科	日本語・日本文学コース	
	中国語圏言語文化コース	
	英語圏言語文化コース	
	仏語圏言語文化コース	
人 間 社 会 学 科	社会学コース	
	教育学コース	
	心理学コース	
芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科	舞踊教育学コース	
	音楽表現コース	

2. 出 願 資 格

入学時までに社会人としての経験を3年以上有し、次のいずれかに該当する女子とする。

- (1) 大学を卒業した者又は大学に2年以上在籍し、62単位以上修得した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 高等専門学校を卒業した者
- (4) 外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者

3. 出 願 期 間

平成14年11月5日(火)から平成14年11月8日(金)まで。(11月8日までの消印有効)

4. 出願手続

(1) 出願書類等

編入学願書	本学所定の用紙
履歴書	本学所定の用紙
志望理由書	本学所定の用紙。社会人としての活動（収入を伴わない活動を含む）と関連させて志望動機を書くこと。
実技関係調査書	芸術・表現行動学科志願者のみ本学所定の用紙で提出すること。
卒業証明書又は 在籍証明書	在籍証明書の場合は、大学に2年以上在籍していたことが判るもの。
成績証明書	出身大学等の長が作成し厳封したもの
健康診断書	本学所定の用紙（出願時以前3ヶ月以内に作成したもの）
在職証明書	在職中の者は在職証明書を提出すること。（様式は特に定めない）
検定料	30,000円〔郵便局振出しの普通為替証書（受取人指定欄に「お茶の水大学 大学」とのみ記入すること。）〕
受験票返送用封筒	本学所定の受験票返送用封筒にあて先を明記して、350円分の切手（速達料を含む。）を貼ること。
あて名シール2枚	結果通知の送付に使用するので、確実に連絡がとれる住所を記入すること。

(2) 出願方法

出願書類を一括して、必ず本学所定の封筒を用い、「書留速達」で下記あてに郵送すること。

〔送付先〕 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学 入試課

5. 選 抜 方 法

選考は、次の第1次選考・第2次選考に分けて行う。

(1) 第 1 次 選 考

①試 験 日 平成14年11月29日(金)

学 科		筆 記 試 験 10:30~12:00
人 文 学 科	哲学・倫理学・美術史コース	外国語(英・独・仏語の中から1か国語)を含む専門試験
	比較歴史学コース	英語を含む専門試験
	地理学コース	英語を含む専門試験
言 語 文 化 学 科	日本語・日本文学コース	国語・国文学の専門試験
	中国語圏言語文化コース	現代中国語・古典中国語
	英語圏言語文化コース	英 語
	仏語圏言語文化コース	フランス語
人 間 社 会 学 科	社会学コース	英語を含む専門試験
	教育学コース	英語を含む専門試験
	心理学コース	英語を含む専門試験・基礎統計学
芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科	舞踊教育学コース	英語を含む専門試験
	音楽表現コース	音楽史・外国語(英・独・仏語の中から1か国語)

②第1次選考の結果

平成14年12月5日(木)に、第1次選考合格者には「第1次選考合格通知書」を、合格とならなかった者には「第1次選考結果通知書」を送付する。

なお、同日正午に本学入試課ホームページにも第1次選考合格者の受験番号を掲載する予定である。

入試課ホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

(2) 第 2 次 選 考

試 験 日 平成14年12月12日(木) 10時30分 ~

第1次選考合格者に対し、志望学科による口述試験及び実技検査(芸術・表現行動学科のみ)を行い、第1次選考の成績と口述及び実技検査の結果を総合して合否を判定する。

第2次選考日程の詳細は「第1次選考合格通知書」に同封し送付する。

実 技 検 査

- 芸術・表現行動学科「舞踊教育学コース」志望者に次の検査を行う。

- 1 必須課題
ア. 舞踊・スポーツに必要な身体支配能力を見るための基礎運動
イ. 面接
- 2 選択課題
下記のア、イのいずれかを選択すること。
ア. 舞 踊（下記の①と②を行う。）
① 既成作品：モダンダンス、バレエ、日本舞踊、民族舞踊や、マイム、新体操などの表現領域から作品を自由に選択し、1分以内に演じる。自作・他作どちらでも可。使用する音楽（カセットテープに録音のこと）を持参のこと。
② 創 作：課題は当日提示する。
イ. スポーツ（下記の①から③の全種目を行う。）
①バレーボール
②バスケットボール
③バドミントン
- ※ 実技試験に必要な服装、用具、靴（体育館シューズ及び各自選択課題に必要な靴）を持参のこと。

- 芸術・表現行動学科「音楽表現コース」志望者に次の検査を行う。

1. 必須課題
ア. 聴 音 : 1～2声部
イ. 新曲視唱 : 旋律のみ
ウ. 歌 唱 : イタリア古典歌曲（原語）より1曲自由選択し、暗譜で演奏すること。
なお、歌唱は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない）
エ. ピアノ : J. S. バッハ作曲の鍵盤音楽（3分以内）より1曲を自由選択し、暗譜で演奏すること。
2. 選択課題
次のア、イ、ウのいずれか一つを選ぶこと。
ア. 声楽演奏
下記のいずれか一方を選び、暗譜で演奏すること。
① 日本歌曲
② アリア（原語・原調）または外国歌曲（原語）
なお、声楽演奏は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない）
イ. ピアノ演奏
下記のいずれか一方を選び、暗譜で演奏すること。
① ベートーヴェンのピアノソナタから一つの楽章を自由選択（ただし、緩徐楽章を除く）
② ショパンのピアノ練習曲集（作品10, 作品25）から2曲を自由選択
ウ. 声または任意の楽器による演奏
音楽様式は問わない（邦楽器、洋楽器など）
演奏に関する質疑応答を行う。楽譜使用可。演奏は受験者本人のみに限る。

Ⅲ. 合格発表等

1. 合格者の発表

平成14年12月17日(火) 正午

本学南門掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」及び「入学手続関係書類」を、合格とならなかった者には「結果通知書」を送付する。
なお、本学入試課ホームページにも合格者の受験番号を掲載する予定である。
入学手続きは12月下旬に郵送により行う。

入試課ホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

(注) 電話等による合否の問い合わせには一切応じない。

2. 入学料及び授業料

- (1) 入学料 282,000円
(2) 授業料年額 520,800円 (在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用される。)

3. 修学条件

入学の時期は平成15年4月とし、編入学後2年以上4年以内に本学文教育学部履修規程に定める授業科目を履修し、卒業に必要な単位を修得した者については、学士(人文科学)の学位を授与する。

4. 注意事項

- (1) 出願後、書類の変更及び検定料の払戻は行わない。
(2) 別途、この『文教育学部第3年次編入学学生募集要項』を請求する場合は、返信用の封筒(角型2号23.9cm×33.1cm)に宛名を明記し、200円分の切手を貼ったものを同封し、請求する封筒の表に『文教育学部第3年次編入学学生募集要項請求』と朱書のうえ、請求してください。

5. 「大学案内」の請求

文教育学部の各学科・コース等の紹介は、「お茶の水女子大学大学案内」に記載されている。「大学案内」の送付を希望する場合は、返信用の封筒(角型2号23.9cm×33.1cm)に宛名を明記し、390円分の切手を貼ったものを同封し、請求する封筒の表に「大学案内請求」と朱書きのうえ、請求してください。

また、インターネットの入試課ホームページからでも請求できるのでご利用ください。

〔請求先〕 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学入試課

6. 出願状況

出願状況は、平成14年11月6日(水)から本学入試課ホームページで公表する予定です。

入試課ホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

○ 平成15年度お茶の水女子大学生生活科学部第3年次編入学学生募集要項

お茶の水女子大学生生活科学部では、平成8年度から第3年次編入学試験を実施しています。本学部では、社会における女性の地位向上と相まって要請されている、高度な学識と広い視野を持つ女子学生の育成を目指してきました。高等教育の多様化の一環として、既に社会人として活躍している方々のリカレント教育や、短期大学及び高等専門学校を卒業して、更に深い専門知識を求めようとする方々へ、より高度な生活科学の専門教育の機会を提供することがこの制度の趣旨です。

1. 募集人員

学 科	募集人員
生活環境学科	} 10名
人間生活学科	

2. 出願資格

次のいずれかに該当する女子とする。

- (1) 大学を卒業した者及び平成15年3月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者及び平成15年3月卒業見込みの者
- (3) 高等専門学校を卒業した者及び平成15年3月卒業見込みの者
- (4) 平成15年3月31日までに本学以外の大学に2年以上在学している者で62単位以上修得見込みの者
- (5) 大学に2年以上在学し、62単位以上修得した者
(平成15年3月本学卒業見込みの者以外で本学に在学中の者は除く。)
- (6) 外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者及び修了見込みの者

3. 出願期間

平成14年10月17日(木)から平成14年10月23日(水)まで。(10月23日までの消印有効)

4. 出願手続

(1) 出願書類等

編入学願書	本学所定の用紙
志望理由書	本学所定の用紙
卒業(見込)証明書、又は在学証明書	
成績証明書(履修中の科目も記載すること。)	
健康診断書	本学所定の用紙(出願時以前3ヶ月以内に作成したもの) 現在、大学・短大・高等専門学校等に在学中の者は、学校医による証明でも可とする。
検定料	30,000円〔郵便局振出しの普通為替証書(受取人指定欄に「お茶の水女子大学」とのみ記入すること。)]
受験票返送用封筒	本学所定の受験票返送用封筒に送付先を明記して、350円分の切手(速達料を含む。)を貼ること。
あて名シール2枚	結果通知の送付に使用するので、確実に連絡がとれる住所を記入すること。

(2) 出願方法

出願書類を一括して、必ず本学所定の出願用封筒を用い、「書留速達」で下記あてに郵送すること。

〔送付先〕 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学 入試課

5. 選 抜 方 法

学力検査（筆記試験）及び成績証明書等を総合して第1次選考合格者を判定し、第1次選考合格者に第2次選考（面接試験）を行い最終合格者を決定する。

○第1次選考（筆記試験） 平成14年11月6日（水）

学 科	試 験 科 目	時 間
生 活 環 境 学 科	英 語（一般） 自 然 科 学 ☆	9：30～12：00
人 間 生 活 学 科	英 語（一般） 人 文・社 会 科 学 ★	9：30～12：00

☆ 物理学、化学、生物学等に関する基礎知識

★ 人文科学、社会科学、心理学等に関する基礎知識

○第2次選考（面接試験） 平成14年11月28日（木）

6. 合 格 発 表

- (1) 第1次選考合格発表 平成14年11月14日（木）に、第1次選考合格者には「第1次選考合格通知書」を、合格とならなかった者には「第1次選考結果通知書」を送付する。
なお、同日正午に本学入試課ホームページにも第1次選考合格者の受験番号を掲載する予定である。

入試課ホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

- (2) 第2次選考合格発表 平成14年12月5日（木）正午に、本学南門掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに合格者には「合格通知書」及び「入学関係書類」を、合格とならなかった者には「結果通知書」を送付する。

なお、本学入試課ホームページにも合格者の受験番号を掲載する予定である。

入試課ホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

入学手続は平成14年12月中旬に郵送により行う。

（注）電話等による合否の問い合わせには一切応じない。

7. 入 学 料 及 び 授 業 料

- (1) 入 学 料 282,000円
(2) 授 業 料 年 額 520,800円 （在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用される。）

8. 修 学 条 件

入学の時期は平成15年4月とし、編入学後2年以上4年以内に本学生活科学部履修規程に定める授業科目を履修し、卒業に必要な単位を修得した者については、学士（生活科学）の学位を授与する。

9. 注 意 事 項

- (1) 出願後、書類の変更及び検定料の払戻は行わない。
(2) 別途、この『生活科学部第3年次編入学学生募集要項』を請求する場合は、返信用の封筒（角型2号23.9cm×33.1cm）に宛名を明記し200円分の切手を貼ったものを同封し、請求する封筒の表に『生活科学部第3年次編入学学生募集要項請求』と朱書のうえ、請求してください。

10. 「大学案内」の請求

生活科学部の各学科・講座等の紹介は、「お茶の水女子大学大学案内」に記載されている。

「大学案内」の送付を希望する場合は、返信用の封筒（角型2号23.9cm×33.1cm）に宛名を明記し、390円分の切手を貼ったものを同封し、請求する封筒の表に「大学案内請求」と朱書のうえ、請求してください。

また、インターネットの入試課ホームページからも請求できるのでご利用ください。

〔請 求 先〕 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号 お茶の水女子大学 入試課

11. 出 願 状 況

出願状況は、平成14年10月18日（金）から本学入試課ホームページで公表予定です。

入試課ホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

○ 平成15年度お茶の水女子大学特別選抜学生募集要項

Ⅰ 推薦入学学生募集要項

1. 学部・学科別募集人員

学 部	学 科	募 集 人 員
文 教 育 学 部	人 文 科 学 科	入学定員のうち12名
	言 語 文 化 学 科	入学定員のうち 8名
理 学 部	人 間 社 会 科 学 科	入学定員のうち 5名
	芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科	入学定員のうち 3名
	「舞踊教育学コース」	入学定員のうち 3名
	「音楽表現コース」	入学定員のうち 3名
理 学 部	数 学 科	入学定員のうち 4名
	物 理 学 科	入学定員のうち 3名
	化 学 科	入学定員のうち 3名
	生 物 学 科	入学定員のうち 4名
	情 報 科 学 科	入学定員のうち10名
生 活 科 学 部	生 活 環 境 学 科	入学定員のうち 9名
	人 間 生 活 学 科	入学定員のうち12名

2. 出願資格及び推薦の要件

文 教 育 学 部	平成14年度中に高等学校（中等教育学校を含む。）を卒業又は卒業見込みの女子で、高等学校長が、以下の要件に該当すると認め、責任をもって推薦できる者。	
	人 文 科 学 科	次の①又は②のいずれかに該当する者 ①調査書の学習成績概評が△の者 ②人文科学科で学ぶことのできる専門領域について、特に優れた能力と強い関心を有する者
	言 語 文 化 学 科	次の①と②の双方に該当する者 ①調査書の学習成績概評がA以上の者 ②日本文学、日本語学において特に優れた能力と意欲を有する者
	人 間 社 会 科 学 科	次の①と②の双方に該当する者 ①調査書の学習成績概評がA以上の者 ②教育学（人間社会科学科のアドミッション・ポリシーを参照）の勉学に強い意欲を有する者
理 学 部	芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科	次の①又は②のいずれかに該当する者 ①調査書の学習成績概評が△の者 ②「舞踊教育学コース」 舞踊又は体育において特に優れた能力と意欲を有する者 「音楽表現コース」 音楽において特に優れた能力と意欲を有する者
	平成14年度中に高等学校（中等教育学校を含む。）を卒業又は卒業見込みの女子で、真理の探究に対し強い憧憬と意欲を抱き、かつ、高等学校長が次の①又は②のいずれかに該当すると認め、責任をもって推薦できる者 ① 調査書の学習成績概評が△の者 ② 志望学科に関連する科目において特に優れた能力と意欲を有する者	
生 活 科 学 部	平成14年度中に高等学校（中等教育学校を含む。）を卒業又は卒業見込みの女子で、真理の探究に対し強い憧憬と意欲を抱き、かつ、高等学校長が次の①又は②のいずれかに該当すると認め、責任をもって推薦できる者 ① 調査書の学習成績概評が△の者 ② 志望学科における各専門領域の勉学に強い意欲を有する者	

(注) 推薦を行う者については、高等学校長のほか高等専門学校長及び高等部を置く盲・聾・養護学校長並びに文部科学大臣から高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定された在外教育施設の長を含む。

3. 出願書類等

推薦入学願書	本学所定の用紙
調査書	高等学校長が作成し、厳封したもの。
推薦書	本学所定の用紙に、高等学校長が作成し、厳封したもの。
志望理由書	本学所定の用紙
実技関係調査書	文教育学部芸術・表現行動学科を志願する者のみ本学所定の用紙で提出すること。
検定料	17,000円〔郵便局振出しの普通為替証書（受取人指定欄に「お茶の水女子大学」とのみ書くこと。）〕 注) 1 第1次選考の不合格者に対しては、13,000円を返還する。 2 上記の1に該当する者は、平成15年3月31日までに申し出ること。（返還手続きの方法は第1次選考の結果とともに通知する。） なお、上記1の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しない。
受験票返送用封筒	本学所定の受験票返送用封筒に送付先を明記して、350円分の切手（速達料を含む。）を貼ること。
あて名シール2枚	結果通知の送付に使用するので、確実に連絡が取れる住所を明記すること。

(注) 「理学部物理学科」の推薦入学志願者については、上記の「志望理由書」の補足資料（例えば、自由研究レポート、実験ノート、これまでこだわりを持ち続けたテーマについて考えをまとめたノート等）があれば、そのコピーを添付してもよい。

4. 出願上の注意

- (1) 国公立大学の推薦入学（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）は1つの大学・学部しか出願できない。
- (2) 出願後の志望学部・学科等の変更は認めない。
- (3) 出願書類不備の場合は受理しない。また、一旦受理した書類は返却しない。

5. 出願方法

出願書類を一括して、必ず本学所定の出願用封筒を用い、「書留速達」で下記あて郵送に郵送すること。

〔送付先〕 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学 入試課

6. 出願期間

平成14年10月28日（月）～11月1日（金）（締切日までの消印があれば有効）

7. 選 抜 方 法

選考は、次の第1次選考・第2次選考に分けて行う。

(1) 第 1 次 選 考

文 教 育 学 部 理 学 部 生 活 科 学 部	<p>出願書類による書類選考を行い、平成14年11月14日(木)に、その合格者には「第1次選考合格通知書」を、合格とならなかった者には「第1次選考結果通知書」及び「検定料返還金請求書」を送付する。</p> <p>なお、同日正午に入試課ホームページにも第1次選考合格者の受験番号を掲載する予定である。</p> <p style="text-align: center;">入試課ホームページURL http://www.ao.ocha.ac.jp/</p>
---------------------------------	---

(2) 第 2 次 選 考

文 教 育 学 部	人 文 科 学 科 言 語 文 化 学 科 人 間 社 会 科 学 科	第1次選考合格者に対し、志望学科による小論文を平成14年11月28日(木)に、面接(口頭試問を含む。)を11月29日(金)に行い、書類選考、小論文、面接の結果を総合して合否を判定する。
	芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科 舞 踊 教 育 学 コー ス 音 楽 表 現 コー ス	第1次選考合格者に対し、志望学科による小論文及び実技検査を平成14年11月28日(木)に、面接(口頭試問を含む。)を11月29日(金)に行い、本学の必修科目を受講するのに必要な能力を基準として、書類選考、小論文、面接及び実技検査の結果を総合して合否を判定する。
理 学 部		第1次選考合格者に対し、志望学科による小論文(生物学科のみ)と面接(口頭試問を含む。)を平成14年11月29日(金)に行い、書類選考及び小論文・面接の結果を総合して合否を判定する。
生 活 科 学 部		第1次選考合格者に対し、志望学科による面接(口頭試問を含む。)を平成14年11月29日(金)に行い、書類選考及び面接の結果を総合して合否を判定する。

(注) 第2次選考の日程の詳細については、「第1次選考合格通知書」に同封し通知する。

実 技 検 査

- 芸術・表現行動学科「舞踊教育学コース」志望者に次の検査を行う。

1 必須課題

- ア. 舞踊・スポーツに必要な身体支配能力をみるための基礎運動
イ. 面接

2 選択課題

下記のア、イのいずれかを選択すること。

ア. 舞踊（下記の①と②を行う。）

- ① 既成作品：モダンダンス、バレエ、日本舞踊、民族舞踊や、マイム、新体操などの表現領域から作品を自由に選択し、1分以内に演じる。自作・他作どちらでも可。
使用する音楽（カセットテープに録音のこと）を持参のこと。
② 創 作：課題は当日提示する。

イ. スポーツ（下記の①から③の全種目を行う。）

- ① バレーボール
② バスケットボール
③ バドミントン

※ 実技検査に必要な服装、用具、靴（体育館シューズ及び各自選択課題に必要な靴）を持参のこと。

- 芸術・表現行動学科「音楽表現コース」志望者に次の検査を行う。

1 必須課題

- ア. 聴 音 : 1～2声部
イ. 新曲視唱 : 旋律のみ
ウ. 歌 唱 : イタリア古典歌曲（原語）より1曲自由選択し、暗譜で演奏すること。
なお、歌唱は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない）
エ. ピアノ : J. S. バッハ作曲の鍵盤音楽（3分以内）より1曲を自由選択し、暗譜で演奏すること。

2 選択課題

次のア、イ、ウのいずれか一つを選択すること。

ア. 声楽演奏

下記のいずれかを選択し、暗譜で演奏すること。

- ① 日本歌曲
② アリア（原語・原調）又は外国歌曲（原語）

なお、声楽演奏は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない）

イ. ピアノ演奏

下記のいずれかを選択し、暗譜で演奏すること。

- ① ベートーヴェンのピアノソナタから一つの楽章を自由選択（ただし、緩徐楽章を除く）
② ショパンのピアノ練習曲集（作品10、作品25）から2曲を自由選択

ウ. 声又は任意の楽器による演奏

音楽様式は問わない（邦楽器、洋楽器など）。

演奏に関する質疑応答を行う。楽譜使用可。演奏は受験者本人のみに限る。

8. 合格発表等

(1) 合格者の発表

平成14年12月5日(木) 正午

本学南門掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」及び「入学手続関係書類」を、合格とならなかった者には「結果通知書」を送付する。

なお、本学入試課ホームページにも合格者の受験番号を掲載する予定である。

入試課ホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

(注) 電話等による合否の問い合わせには一切応じない。

(2) 合格者は、本学及び他の国公立大学(私立産業医科大学を含む。)を受験することはできない。

9. 入学手続

(1) 合格者に送付される「入学手続関係書類」により手続を行うこと。

- ① 入 学 料 282,000円
- ② 授 業 料 前期分 260,400円(年額 520,800円)
- ③ 入学手続期間 平成14年12月中旬に郵送で行う。

(注) 1 入学手続が受付期間内に完了しない場合は、入学を辞退した者として取り扱う。
2 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用される。
3 入学科及び授業料の免除については、16ページの「3 入学科免除と授業料免除」を参照のこと。

(2) 合格者が極めて特殊な事情により入学を辞退する場合は、平成15年2月14日(金)までに、その理由を付した本学学長あての「推薦入学辞退願」(様式任意)を推薦を受けた学校長の連署を得て、入試課に提出すること。

入学辞退が許可されない場合には、本学及び他の国公立大学(私立産業医科大学を含む。)を受験しても入学許可は得られないので注意すること。

10. 合格とならなかった場合の取扱い

合格とならなかった者で、一般志願者として国公立大学(私立産業医科大学を含む。)を受験しようとする者は、前期日程の大学・学部から1つ、後期日程の大学・学部から1つの合計2つの大学・学部に出願することができる。

出願にあたっては、各大学・学部等により大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等が異なる場合があるので特に注意すること。

本学に出願する場合は、別途「平成15年度お茶の水女子大学学生募集要項」(10月中旬から配布予定)により、出願書類を入試課に郵送すること。

一般入学者選抜出願期間 平成15年1月27日(月)～平成15年2月5日(水)

〔送付先〕 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学 入試課

11. 推薦入学の小論文試験の過去問題

平成14年度推薦入学の小論文試験問題の郵送を希望する場合は、返信用の封筒（角型2号 23.9×33.1cm）に140円分の切手を貼り、推薦入学の学科（コース）名を明記して入試課に請求すること。

○平成14年度に小論文試験を実施した学部・学科（コース）

文教育学部	人文学科 言語文化学科 人間社会科学科 芸術・表現行動学科 舞踊教育学コース 芸術・表現行動学科 音楽表現コース
理学部	生物学科

なお、過去問題は本学入試課ホームページに掲載していますので、参考にしてください。

入試課ホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

12. 大学案内の請求

各学部・学科の紹介等は、「お茶の水女子大学大学案内」に記載されている。「大学案内」の送付を希望する場合は、返信用の封筒（角型2号 23.9×33.1cm）に宛名を明記し、390円分の切手を貼ったものを同封し、請求する封筒の表に「大学案内請求」と朱書きのうえ、請求してください。

〔請求先〕 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学 入試課

また、インターネットからも請求できるので、ご利用ください。

入試課ホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

II 帰国子女・外国学校出身者特別選抜学生募集要項

1. 募集学部・学科及び募集人員

学 部	学 科	募 集 人 員
理 学 部	数 学 科 物 理 学 科 化 学 科 生 物 学 科 情 報 科 学 科	} 入学定員のうち若干名

2. 出 願 資 格

日本国籍を有する女子及び日本国の永住許可を得ている女子で、次の基礎資格を有し、かつ要件を満たしている者。

(1) 基 礎 資 格

次のいずれかに該当する女子。

ア 平成14年度末までに高等学校（中等教育学校を含む。）を卒業又は卒業見込みの者で、外国において2年以上（2学年相当修了も含む。）継続して外国の正規の学校教育を受けた者

イ 外国において、学校教育における12年の課程のうち最終学年を含め2年以上（2学年相当修了も含む。）継続して教育を受け、卒業又は卒業見込みの者

ウ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、平成15年3月31日までに満18歳に達する者

エ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成15年3月31日までに満18歳に達する者

オ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成15年3月31日までに満18歳に達する者

(注) 外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有していると認定した在外教育施設）に在学した期間については、外国において学校教育を受けたものとはみなさない。

(2) 要 件

帰国してから出願までの期間は、外国での正規の学校在学期間を超えないこと。

3. 出 願 書 類 等

帰国子女・外国学校 出身者特別選抜願書	本 学 所 定 の 用 紙
最終出身校卒業（修了） 証明書又は卒業（修了） 見込み証明書	高等学校〔日本の高等学校に相当する課程をいう。（以下「高等学校」という。）〕長の作成したもの。バカロレア・アビトゥア資格を有する者は、その証書の写しを同封すること。
成績証明書又は調査書	高等学校長が作成し厳封したもの。 ただし、成績証明書記載事項のうち科目名、成績評価等が符号または略字により表示されている場合には、必ずその説明を付すること。
在 籍 証 明 書	在籍した外国の学校のそれぞれの学校長が作成したもの。
健 康 診 断 書	出願3か月以内に作成したもの。ただし、平成14年3月から平成15年3月までに日本の高等学校卒業又は卒業見込みの者は提出しなくてよい。
検 定 料	17,000円〔郵便局振出しの普通為替証書（受取人指定欄に「お茶の水女子大学」とのみ書くこと。）〕 出願時に海外に在住する者は、「日本国内の連絡先」の者に依頼して郵便為替にすること。 注1 第1次選考の不合格者に対しては、13,000円を返還する。 2 上記1の該当者は平成15年3月31日までに申し出ること。 （返還手続の方法は第1次選考の結果とともに通知する。） なお、上記1の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しない。
受験票返送用封筒	本学所定の受験票返送用封筒に「日本国内の連絡先」を明記し、350円分の切手を（速達料を含む。）貼ること。
あて名シール2枚	合格通知等に使用するので、本学所定の用紙に「日本国内の連絡先」の住所・氏名・郵便番号を明記すること。

- (注) 1 出願書類に記載事項の記入もれその他不備の場合は、出願書類を受理しない。また、一旦受理した出願書類の出願事項の変更、返却は認めない。
2 出願書類のうち日本語以外の国語で書かれた証明書等については、その日本語訳を添付すること。ただし、外国の学校の成績証明については、添付可能なものとする。

4. 出 願 方 法

出願書類を一括して、必ず本学所定の出願用封筒を用い、「書留速達」で下記あてに郵送すること。

〔送 付 先〕 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学 入試課

- (注) 大学からの連絡、受験票の送付、第1次選考、第2次選考の結果通知等は、すべて願書の「日本国内の連絡先」欄に記載の住所・氏名あてに行う。

5. 出 願 期 間

平成14年10月21日（月）から11月1日（金）（締切日までの消印があれば有効）

6. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、次の第1次選考、第2次選考に分けて行う。

(1)第 1 次 選 考： 出願書類による書類選考を行う。

出願書類による書類選考を行い、平成14年11月14日(木)に、その合格者には「第1次選考合格通知書」を、合格とならなかった者には「第1次選考結果通知書」及び「検定料返還金請求書」を送付する。
なお、同日正午に入試課ホームページにも第1次選考合格者の受験番号を掲載する予定である。

入試課ホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

(2)第 2 次 選 考： 第1次選考合格者に対し、次の試験等を行う。

試験期日： 平成14年11月29日(金)

学 科 名	教 科 等	時 間	試 験 場
数 学 科	数 学	9時30分～10時40分	お茶の水女子大学 理 学 部
	情報科学科	小 論 文	
	口 述 試 験	13時00分～	
物 理 学 科	口 述 試 験	10時00分～	
化 学 科	口 述 試 験	10時00分～	
生 物 学 科	小 論 文	10時15分～11時30分	
	口 述 試 験	13時30分～	

「数学の内容」
数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ
数A (数と式、数列)
数B (ベクトル、複素数と複素数平面)
数C (行列と線形計算、いろいろな曲線)

(注) 第2次選考の日程の詳細については、「第1次選考合格通知書」に同封し通知する。

7. 合 格 発 表 等

平成14年12月5日(木) 正午

本学南門掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」及び「入学手続関係書類」を、合格とならなかった者には「結果通知書」を送付する。

なお、本学入試課ホームページにも合格者の受験番号を掲載する予定である。

入試課ホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

(注) 電話等による合否の問い合わせには一切応じない。

8. 入学手続

(1) 合格者に送付される「入学手続関係書類」により手続を行うこと。

- ① 入 学 料 282,000円
- ② 授 業 料 前期分 260,400円 (年額 520,800円)
- ③ 入学手続期間 平成14年12月中旬に郵送で行う。

(注) 1 入学手続が受付期間内に完了しない場合は、入学を辞退した者として取り扱う。
2 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用される。
3 入学科及び授業料の免除については、16ページの「3 入学科免除と授業料免除」を参照のこと。

(2) 本学に入学手続を完了した者は、取り消して他の国公立大学(私立産業医科大学を含む。)入学手続をすることはできない。

(3) 合格者が極めて特殊な事情により入学を辞退する場合は、平成15年2月14日(金)までに、その理由を付した本学学長あての「入学辞退願」(様式任意)を入試課に提出すること。

〔送 付 先〕 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学 入試課

9. 合格とならなかった場合の取扱い

合格とならなかった者で、一般志願者として国公立大学(私立産業医科大学を含む。)を受験しようとする者は、前期日程の大学・学部から1つ、後期日程の大学・学部から1つの合計2つの大学・学部に出願することができる。

出願にあたっては、各大学・学部等により大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等が異なる場合があるので特に注意すること。

本学に出願する場合は、別途「平成15年度お茶の水女子大学学生募集要項」(10月中旬から配布予定)により、出願書類を入試課に郵送すること。

一般入学者選拔出願期間 平成15年1月27日(月)～平成15年2月5日(水)

10. 帰国子女・外国学校出身者特別選抜試験の過去問題

平成14年度帰国子女・外国学校出身者特別選抜の数学及び小論文の試験問題(数学科・生物学科・情報科学科)の郵送を希望する場合は、返信用の封筒(角型2号 23.9×33.1cm)に140円分の切手を貼り、帰国子女・外国学校出身者特別選抜の学科名を明記して入試課に請求すること。

なお、過去問題は本学入試課のホームページにも掲載していますので参考してください。

11. 大学案内の請求

各学部・学科の紹介等は、「お茶の水女子大学大学案内」に記載されている。「大学案内」の送付を希望する場合は、返信用の封筒(角型2号 23.9×33.1cm)に宛名を明記し、390円分の切手を貼ったものを同封し、請求する封筒の表に「大学案内請求」と朱書きのうえ、請求してください。

〔請 求 先〕 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学 入試課

また、インターネットからでも請求できるので、ご利用ください。

入試課ホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

12. 平成16年度帰国子女・外国学校出身者特別選抜に関する変更点の予告

平成16年度帰国子女・外国学校出身者特別選抜において理学部数学科は募集を行わない。

○ 平成15年度お茶の水女子大学私費外国人留学生（学部留学生）特別選抜学生募集要項

1. 募集学部・学科・人員

学 部	学 科	募 集 人 員
文教育学部	人文科学科、言語文化学科、人間社会科学科、芸術・表現行動学科	若干名
理 学 部	数学科、物理学科、化学科、生物学科、情報科学科	若干名
生活科学部	生活環境学科、人間生活学科	若干名

2. 出願資格

次の(1)及び(2)の要件をともに満たす者

- (1) 日本国籍を有しない女子で、出入国管理及び難民認定法の定めるところにより、在留資格「留学」又は「留學」に変更できる在留資格を有する者及び取得できる見込みの者で、次のいずれかに該当する者であること。
- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成15年（2003年）3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
 - ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、平成15年（2003年）3月31日までに満18歳に達する者。
 - ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成15年（2003年）3月31日までに満18歳に達する者。
 - ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成15年（2003年）3月31日までに満18歳に達する者。

(注意) 日本国籍を有しない者であっても日本の高等学校（中等教育学校を含む。）を卒業した者又は同等以上の資格を得た者は、一般選抜の入学志願者と同じ扱いになり、この選抜に出願できない。

- (2) ① 財団法人 日本国際教育協会主催の「平成14年度日本留学試験」を受験した者。
 ② 理学部物理学科を志願する者は、「TOEFL」を受験した者。
 （詳細については、いずれも7（P2）を参照のこと）

3. 出願期間

平成14年（2002年）12月9日（月）～12月16日（月）まで。（12月13日消印有効）

4. 出願手続

(1) 提出書類等

出 願 書 類	摘 要
※1 入 学 願 書 票 受 験 票 ・ 写 真 票	5 cm × 4 cm で出願前3か月以内に撮影した写真2枚を指定欄に貼付
2 卒業（見込）証明書 及び成績証明書	出身学校（日本の高等学校に対応する学校）の卒業（見込）証明書、最終出身校の成績証明書及び関係教官の推薦書（総て、日本語訳をつけること。）（写は不可） 【バカロレア資格・アビトゥア資格により出願する者はその証書の写しを添付する】
3 作 文	日本語による自筆の作文 （1,000字以内で、留学の目的、専攻分野の内容、将来の計画等について）
4 受 験 票 の 写 し	平成14年度日本留学試験の受験票の写し
5 TOEFLの試験結果の 提出方法について （理学部物理学科 志願者のみ提出）	理学部物理学科を志願する者は、Official Scoreを、試験実施機関（ETS）から直接お茶の水女子大学に送付する手続きを取ること。 お茶の水女子大学の登録コード番号は7224です。TOEFL受験時に、このコード番号により手続きを行なって下さい。 なお、有効期間については平成14年（2002年）11月30日までですので、この期間内に、お茶の水女子大学に到着するように手続きをして下さい。 注）出願時には、受験生本人に送付される試験結果（原本）も提出して下さい。確認後、返送いたします。
※6 健 康 診 断 書	本学所定の用紙を用いる。
7 登 録 原 票 記 載 事 項 証 明 書	出願時に日本国内に在住している者は、外国人登録済証明書を出願時提出。また、出願時に日本国外に在住している者は、戸籍謄本又は出生証明書等を提出。

※8	検 定 料	17,000円 郵便局振出の普通為替証書(受取人欄に、「お茶の水女子大学」とのみ記入すること。 注)出願時に海外に在住する者は、必ず「日本国内の連絡先」の者に依頼して郵便為替にすること。
※9	検 定 料 納 付 書	本学所定の「原符・領収証書」に必要事項を記入すること。
※10	あ て 名 シ ー ル	合格通知その他に使用するので、「日本国内の連絡先」の住所、氏名及び郵便番号を明記すること。
※11	受 験 票 返 送 用 封 筒	本学所定の受験票返送用封筒に送付先(日本国内の連絡先)を明記して360円分の切手(速達料を含む)を貼ること。

※印のものは、この募集要項に添付されているものを示す。

(2) 出願方法

出願書類を一括して、本学所定の出願用封筒に入れ、必ず「書留速達」扱いで本学入試課宛に郵送すること。郵送以外は受付ないので注意すること。

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学入試課

5. 受験票の送付

- (1) 「お茶の水女子大学受験票」は、「受験者心得」とともに、平成15年(2003年)2月12日(水)頃発送する予定。なお、2月17日(月)を過ぎても到着しないときは、入試課へ問い合わせること。
- (2) 受験の際は、「お茶の水女子大学受験票」及び「平成14年度日本留学試験受験票」を必ず持参すること。

6. 入学者の選抜方法等

志願者(理学部物理学科志願者を除く。)に本学の入学試験を課し、その結果と日本留学試験成績、最終出身校の成績証明書、健康診断書等により、総合して合格者を判定する。
なお、理学部物理学科を志願する者には、本学の入学試験は課さず、日本留学試験、TOEFL試験、最終出身校の成績証明書、健康診断書等によって合格者を判定する。

7. 日本留学試験で受験を要する科目及びTOEFL試験を要する学科等について

- (1) 日本留学試験で受験を要する科目等
本学を受験するものは、下表に示す平成14年度日本留学試験を受験していなければ、本学を受験しても入学許可は得られないので、十分に注意すること。

	日本語	総合科目	数学	理 科				出 題 言 語	成績利用
				物理	化学	生物	科目選択		
文 教 育 学 部	○	○	コ-1					日本語	6月/11月
理 学 部 数 学 科	○		コ-2				2科目自由選択	日本語	6月/11月
理 学 部 物 理 学 科	○		コ-2	○			他1科目自由選択	日本語	6月/11月
理 学 部 化 学 科	○		コ-2		○		他1科目自由選択	日本語	6月/11月
理 学 部 生 物 学 科	○		コ-2			○	他1科目自由選択	日本語	6月/11月
理 学 部 情 報 科 学 科	○		コ-2				2科目自由選択	日本語	6月/11月
生 活 科 学 部 生 活 環 境 学 科	○		コ-2				2科目自由選択	日本語	6月/11月
生 活 科 学 部 人 間 生 活 学 科	○	○	コ-1					日本語	6月/11月

(注意) コース1とは、数学を必要とする程度が比較的少ないコースで、コース2とは、数学を高度に必要とするコースである。また、成績は、受験者が「財団法人 日本国際教育協会」に申告した受験回(平成14年の6月試験を(第1回)、11月試験を(第2回)とする)の成績を用いる。

(2) TOEFL (Test of English as a Foreign Language) 試験を要する学科等について

- ① 対象者
理学部物理学科志願者のみ
- ② 試験結果の提出方法
Official Scoreを、試験実施機関(ETS) から直接お茶の水女子大学に送付する手続きを取ってください。

お茶の水女子大学の登録コード番号は 7224 です。学部別のコード番号はありません。TOEFL 受験時に、このコード番号により手続きを行えば、試験後に直接お茶の水女子大学へ試験結果が送付されます。Writing Section (essay) においてタイプ入力した場合は約 2 週間後に、手書きの場合は約 5 週間後に ETS から発送されます。

TOEFL 受験時にお茶の水女子大学への送付手続きを行わなかった場合には、後日 ETS の定めにしたがって Official Score の送付手続きを取ってください。

- ③ 有効期間
2002年4月1日以降2002年11月30日の間にお茶の水女子大学に到着したものを有効とします。

8. 本学の入学試験

- (1) 試験期日 平成15年(2003年)2月25日(火)、26日(水)
(2) 学力検査教科・科目

志願する学部・学科	学 力 検 査 科 目
文 教 育 学 部	人文学科 日本語 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	言語文化学科 日本語 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	人間社会科学科 日本語 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	芸術・表現行動学 日本語 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択) ※ 上記学力検査のほかに、実技検査を行う。
理 学 部	数 学 科 数学共通(数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 数 学(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A*・数B*・数C*) 日本語 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	化 学 科 数学共通(数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 理 科(「化学」と「物理、生物から1科目選択」) 日本語 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	生 物 学 科 数学共通(数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 理 科(「生物」と「物理、化学から1科目選択」) 日本語 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	情 報 学 科 数学共通(数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 数 学(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A*・数B*・数C*) 数学・理科(数Ⅲ・数C*・物理、化学、生物から2科目選択) 日本語 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
生 活 科 学 部	生活環境学科 数 学(数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 理 科(物理、化学、生物から1科目選択) 日本語 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	人間生活学科 日本語 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)

数A* (数と式、数列)

数B* (ベクトル、複素数と複素数平面)

数C* (行列と線形計算、いろいろな曲線)

(注) 学力検査科目欄の外国語(英語、ドイツ語、フランス語)は、母国語を選択することはできない。

(3) 実技検査

- 芸術・表現行動学科「舞踊教育学コース」志望者に次の検査を行う。

1 必須課題

- ア. 舞踊・スポーツに必要な身体支配能力をみるための基礎運動
イ. 面接

2 選択課題（下記のア、イのいずれかを選択すること）

- ア. 舞踊（下記①と②を行う。）

- ① 既成作品：モダンダンス、バレエ、日本舞踊、民族舞踊やマイム、新体操などの表現領域から作品を自由に選択し、1分以内に演じる。自作・他作どちらでも可。使用する音楽（カセットテープに録音のこと）を持参のこと。
② 創作：課題は当日提示する。

- イ. スポーツ（下記①から③の全種目を行う。）

- ① バレーボール
② バスケットボール
③ バドミントン

※ 実技検査に必要な服装、用具、靴（体育館シューズ及び各自選択課題に必要な靴）を持参のこと。

- 芸術・表現行動学科「音楽表現コース」志望者に次の検査を行う。

1 必須課題

- ア. 聴音 : 1～2声部

- イ. 新曲視唱 : 旋律のみ

- ウ. 歌唱 : イタリア古典歌曲（原語）より1曲自由選択し、暗譜で演奏すること。
なお、歌唱は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない）

- エ. ピアノ : J. S. バッハ作曲の鍵盤音楽（3分以内）より1曲を自由選択し、暗譜で演奏すること。

2 選択課題

次のア、イ、ウのいずれか一つを選択すること。

- ア. 声楽演奏

下記のいずれかを選択し、暗譜で演奏すること。

- ① 日本歌曲
② アリア（原語・原調）または外国歌曲（原語）
なお、声楽演奏は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない）

- イ. ピアノ演奏

下記のいずれかを選択し、暗譜で演奏すること。

- ① ベートーヴェンのピアノソナタから一つの楽章を自由選択（ただし、緩徐楽章を除く）
② ショパンのピアノ練習曲集（作品10、作品25）から2曲を自由選択

- ウ. 声又は任意の楽器による演奏

音楽様式は問わない（邦楽器、洋楽器など）。

演奏に関する質疑応答を行う。楽譜使用可。演奏は受験者本人のみに限る。

(4) 口述試験

各学部（理学部物理学科は除く。）とも口述試験を行う。

(5) 入学試験日時割

		2月25日(火)			2月26日(水)	
文 教 育 学 部	人文学科 言語文化学科 人間社会科学科	/	外国語	日本語	/	口述試験 14:00～
	芸術・表現行動 学 科		13:00	15:20		
	舞踊教育学コース		14:40	17:00		
	音楽表現コース					
理 学 部	数 学 科	数学共通 10:00 11:40	外国語	日本語	数 学 10:00～12:00	口述試験 14:00～
	化 学 科		13:00	15:20	化学・選択(物理、生物) 10:00～13:00	
	生 物 学 科		14:40	17:00	生物・選択(物理、化学) 10:00～13:00	
	情 報 学 科				数学・選択(数Ⅲ・数C、 物理、化学、生物) 10:00～13:00	
生 活 科 学 部	生活環境学科	数 学 10:00 11:40	外国語	日本語	選択(物理、化学、生物) 10:00～11:30	口述試験 14:00～
	人間生活学科	/	13:00	15:20	/	
		/	14:40	17:00	/	

※ 受験上の注意等については、受験票送付の際に同封する。

9. 合格発表

平成15年(2003年)3月8日(土)正午(予定)

本学南門掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を郵送する。
なお、本学入試課ホームページにも合格者の受験番号を掲載する予定である。

入試課ホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

10. 入学手続等

入学手続は入学手続書類を郵送により行う。手続方法についての詳細は、合格者に送付する入学手続関係の案内に記載されている。

(1) 入学手続期間

学 部	入学手続書類郵送受付期間
文 教 育 学 部 理 学 学 部 生 活 科 学 部	3月10日(月) から 3月15日(土)必着

(注) 1. 所定の期日までに手続きをしない者は、入学を辞退した者として取り扱う。

2. 3月15日は土曜日であり、金融機関での取り扱いができないことから、できるだけ3月14日(金)までに本学へ届くよう郵送願います。

(2) 手続事項

提出書類	お茶の水女子大学受験票
入 学 料	282,000円
授 業 料	前期分 260,400円〔年額 520,800円〕 (注1) 前期分の授業料を上記手続期間中に納入しないときは、4月1日から4月30日までの間に納入することになる。 (注2) 入学手続終了者が3月31日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申出により当該授業料相当額を返還する。 (注3) 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができる。 (注4) 在学中に授業料改定が行われた場合に、改定時から新授業料が適用されるので留意すること。

1.1. 注意事項

- (1) 提出書類に不備不足等がある場合は受理しない。また、いったん受理した書類は返却しない。
- (2) 既納の検定料は、いかなる理由があっても返還しない。
- (3) 可否に関するの電話による問い合わせには応じない。

1.2. 平成14年度私費外国人留学生(学部留学生)過去問題

平成14年度私費外国人留学生(学部留学生)試験問題を開示しているのので、希望者は、入試課に問い合わせること。

なお、過去問題は本学入試課ホームページに掲載していますので、参考にしてください。

入試課ホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

1.3. 大学案内の請求

各学部・学科の紹介等は、「お茶の水女子大学大学案内」の冊子に記載されているので、希望者は、角型2号(23.9×33.1cm)の返信用封にあて名を明記し、390円分の切手を貼付したものを同封し、請求する封筒の表に「大学案内請求」と朱書きのうえ、請求してください。

○募集要項、大学案内請求先

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学入試課
☎ 03-5978-5697

○平成14年度9月卒業式・大学院学位記授与式

今年度の9月卒業式・大学院学位記授与式が、9月30日(月)11時から人間文化研究科6F大会議室にて挙行された。

・卒業者数(9名)

文教育学部 4名

理学部 3名

生活科学部 2名

・大学院学位記授与者数(14名)

人間文化研究科博士前期課程 4名

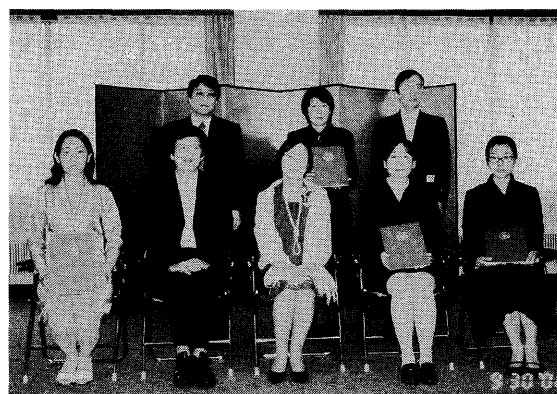
人間文化研究科博士後期課程 7名

論文博士 3名

計(23名)



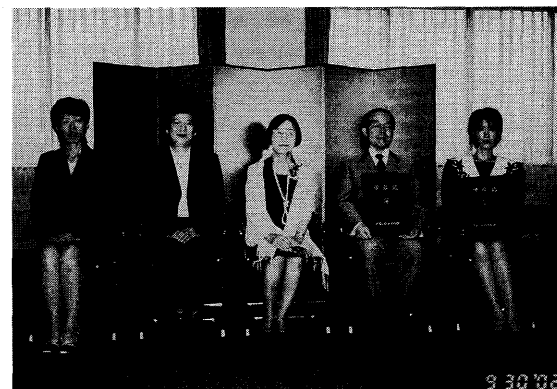
学部卒業者



博士前期課程修了者



博士後期課程修了者



論文博士

○学位授与

(課程修了によるもの)

学位授与日：平成14年9月30日

授与番号	博士の専攻分野の名称	氏名	本籍	博士論文名
甲第259号	博士(人文科学)	津留崎 由紀子	長崎県	述語名詞および形容詞の中止形の表す関係的意味についての研究
甲第260号	博士(人文科学)	金 志 宣	大韓民国	韓・日の会話における turn-taking と連鎖 -大学生の討論を資料として-
甲第261号	博士(人文科学)	翁 育 瑄	台湾	唐宋における家族の研究 -墓誌を中心に-
甲第262号	博士(人文科学)	松 田 文 子	神奈川県	認知意味論的アプローチによる複合動詞の意味と習得の研究 -「~こむ」を事例として-
甲第263号	博士(人文科学)	井 上 登喜子	東京都	19世紀ドレーズデンの合唱協会研究 -合唱活動のもつ社会的側面に関する考察-
甲第264号	博士(学 術)	常葉(布施) 美 穂	東京都	メジロー (J.Mezirow) の変容理論 (transformation theory) に関する研究
甲第265号	博士(学 術)	金 富 子	大韓民国	植民地期朝鮮における普通学校への就学・不就学とジェンダー -民族・階級との関連を中心に-

(論文提出によるもの)

学位授与日：平成14年9月30日

授与番号	博士の専攻分野の名称	氏名	本籍	博士論文名
乙第177号	博士(人文科学)	趙 姫 玉	台 湾	『雨月物語』の研究 —中日比較文学の視点から
乙第178号	博士(人文科学)	松 本 奈穂子	神奈川県	5拍子の舞踊における、音楽の 拍子と脚部動作との対応性 ： トルコ及びグルジアの「 ホルミ」を中心に
乙第179号	博士(人文科学)	植 木 雅 俊	長 崎 県	仏教におけるジェンダー平等 の研究 『法華教』に至るインド仏教 からの考察

諸 報

○ 研 修

名 称	実 施 日 時	対 象 者	修 了 者	主 催
平成14年度関東・甲信越地区 国立学校等技術専門職員研修	平成14年8月26日 ～8月29日	① 技術専門職員又は技術専門職員相当の職にある者 ② 勤務成績が優秀な者	理学部・技術専門職員 古田 悦子	文部科学省及び 東京水産大学・ 横浜国立大学
平成14年度会計事務特別研修	平成14年9月24日 ～10月11日	① 現在会計事務に従事し、かつ、1年以上会計事務の経験を有する者又はそれに相当する者で、原則として年齢25歳以上30歳以下の者 ② 簿記の初歩的な知識（3級程度）を有する者	会計課・出納係 荒木 多恵子	文部科学省及び 独立行政法人教員研修センター
平成14年度関東・甲信越地区 国立学校等係長研修	平成14年10月1日 ～10月4日	① 係長又は係長相当の職にある者 ② 年齢50歳以下の者 ③ 勤務成績が優秀な者	総務課・附属学校係長 滝本 照子 会計課・専門職員 河野 隆	文部科学省及び 千葉大学・東京 大学
平成14年度関東・甲信越地区 国際企画担当職員研修	平成14年10月8日 ～10月11日	① 国際的視点に立った事業の企画や国際関係事業の実施等の業務を担当する主任以下の若手職員 ② 心身ともに健康で、かつ勤務成績が優秀な者	研究協力室・研究協力係 高取 大典	文部科学省及び 東京大学
平成14年度国立学校等科長補佐級研修	平成14年10月15日 ～10月18日	平成13年度の本研修後に新たに国立学校等の課長補佐、室長補佐、事務長補佐、専門員（職制定数上の専門員をいう。）及び主任専門職員に就任した者で、原則として年齢50歳以下の者	総務課・課長補佐 齊藤 實 学務課・課長補佐 村上 恭二	文部科学省及び 独立行政法人教員研修センター

○ 健康診断

事 項	実 施 日 時	対 象 者	受 診 者 数	実 施 場 所
平成14年度職員特別健康診断	平成14年9月9日	自動車運転手	1 人	保健管理センター
平成14年度遠隔地勤務者健康診断	平成14年9月11日	理学部附属臨海実験所及び館山野外教育施設勤務者。ただし、人間ドック受診者を除く。	4 人	千葉県安房保健所
平成14年度職員一般定期健康診断	平成14年10月10日及び平成14年10月11日	全職員。ただし、人間ドック受診者及び遠隔地勤務者を除く。	220 人	保健管理センター

○公開講座

(宮澤賢治《花園の思想》)



お茶の水女子大学公開講座

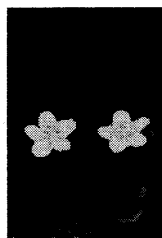
講座名 宮澤賢治 《花園の思想》
実施日 平成14年9月28日(土) 午後1:00~3:00
参加料 無料(但し、資料代500円)
場所 お茶の水女子大学共通講義棟1号館301号室
講師 大塚常樹 お茶の水女子大学文教育学部教授

宮澤賢治の文学にはたくさんの花が登場するのをご存じですか。賢治はそれらの色や大きさ、性質を知り抜いて、さまざまな人間の生き方を示す物語として描きました。たとえば、ウメバチソウやゲンノショウコなどの野原に咲く小さな白い花は、つましく生きる美しい心の持ち主として描きました。

講座では、美しい花の写真を交えながら、オキナグサやシロツメクサ、ゲンノショウコ、スズラン、コブシ、サクラなどについて分析を行います。そしてそこから賢治が私たちに送り出した、理想的な生き方へのメッセージを抽出してみせます。

《うめばちそう》

ここはこけももとはなさくううめばちさう
かすかな岩の輻射もあれば雲のレモンのに
ほひもする(早池峰山巔)

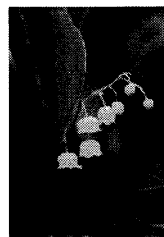


《おきなぐさ》

このうずのしゅげの花をきらひなものはあり
ません。ごらんなさい。この花は黒繻子でも
こしらへた変り型のコップのやうに見えますが、
その黒いのはたとへば葡萄酒が黒く見えるのと
同じです。(おきなぐさ)

《すずらん》

子兔のホモイは、悦んでびんびん踊りなが
ら申しました。「ふん、いい匂だなあ。うまい
ぞ、うまいぞ、鈴蘭なんかまるでパリパリだ。」
風が来たので鈴蘭は、葉や花を互にぶっつけて
しゃりんしゃりんと鳴りました。(貝の火)



申込方法：往復はがきに、「公開講座 宮澤賢治《花園の思想》」と明記し、1.氏名、2.住所、3.年令、4.職業、5.性別、6.電話番号を記入のうえ、平成14年9月13日(金)(当日消印有効)までに下記へお送りください。

なお、定員50名になり次第受付は終了させていただきます。

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1

お茶の水女子大学企画広報室

電話：03-5978-5105 E-mail：info@cc.ocha.ac.jp URL：http://www.ocha.ac.jp

詳しくは大学ホームページにも掲載しております。

上記の通り募集・実施し、予定定員50名のところ108名の応募があり、100名を受付し、85名が受講・修了した。

拡声器の不調があったが、宮澤賢治作品の読み方に新たな視点が加わったなど、内容は好評であった。

(土曜講座「江戸から東京へ」)



お茶の水女子大学

《土曜講座》
江戸から東京へー文学の世界ー

実施期間 : 平成14年10月5日(土)～10月26日(土)全4回 毎週土曜日
午前10:30～12:00(90分) / 午後13:20～14:50(90分)

実施場所 : お茶の水女子大学文教育学部1号館301室(3階)

受講料 : 無料(但し、資料代として1,000円)

定員 : 40名(先着順)

申込締切日 : 平成14年9月13日(金)

講師 : 堤 精二 お茶の水女子大学名誉教授

浅井 清 お茶の水女子大学名誉教授

申し込み方法/問い合わせ先 :

往復葉書に「《土曜講座》 江戸から東京へ」と明記し、1.受講希望者氏名 2.住所 3.年齢 4.職業 5.性別 6.電話番号を記入の上、平成14年9月13日(金)迄に(当日消印有効)下記宛てお送り下さい。

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1

お茶の水女子大学企画広報室

TEL03-5978-5105 FAX03-5978-5890

E-mail : info@cc.ocha.ac.jp

ホームページ : <http://www.ocha.ac.jp>

受講者決定 : 受講者へは申込書により受け付け後、「受講者証」を郵送します。

主催 : お茶の水女子大学公開講座委員会

講座日程及び講座概要

《土曜講座》 江戸から東京へー文学の世界ー

講師 講座概要	堤 精二 講師		浅井 清 講師	
	午前 10:30～12:00		午後 13:20～14:50	
講座日程				
第1回 平成14年10月5日(土)	はじめにー何故古典かー		鎖国から開国へ	
第2回 平成14年10月12日(土)	出版文化ー作者・読者・書肆ー 木版から活版へ			
第3回 平成14年10月19日(土)	言語遊戯について		文明開化の夢と現実	
第4回 平成14年10月26日(土)	「文学は人情を道ふ」		『舞踏会』の前と後	

※詳しくは、お茶の水女子大学ホームページ(公開講座)をご覧ください。

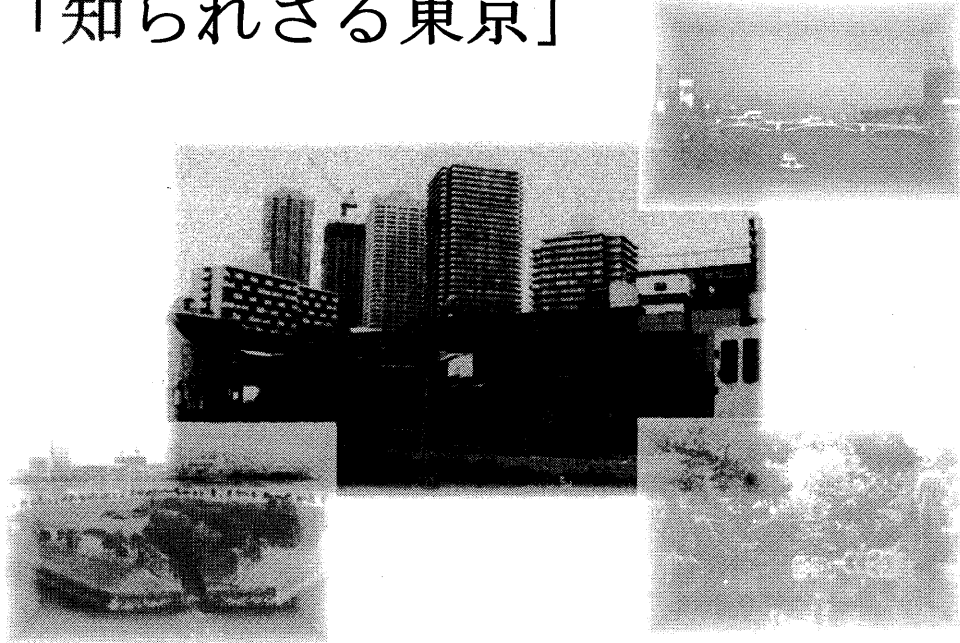
上記の通り募集・実施し、予定定員40名のところ77名の応募があり、75名を受付し、62名が受講、うち51名が修了した。

今後の講座企画の裾野拡大を目指し、初めて退官教官だけによる講座として実施し、受講生からは好評を得た。

(知られざる東京)

お茶の水女子大学公開講座

「知られざる東京」



日 程： 平成 14 年 10 月 12 日 (土)
～平成 14 年 11 月 2 日 (土)
毎週土曜日午後、全 4 回

募集人数： 30 名 (先着順)
受講料： 6,800 円 (全 4 回分)
締め切り日： 平成 14 年 9 月 13 日 (金)

申し込み方法／お問い合わせ先：

往復葉書に「公開講座 知られざる東京」と明記し、
1. 受講希望者氏名 2. 住所 3. 年齢 4. 職業 5. 性別
6. 電話番号を記入の上、平成 14 年 9 月 13 日 (金)
迄に (当日消印有効) 下記宛てにお送り下さい。受講
者には本学から納付書を送付しますので、郵便口座に
お振込みください。振込みを確認した後、受講者証を
郵送致します。

傷害保険等：講座受講料には、傷害保険等の保険料は含
まれておりませんので、各自が加入して下さい。

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1
お茶の水女子大学企画広報室
TEL 03-5978-5105 FAX 03-5978-5890

●講座内容

①第 1 回目 (ガイドンス) 「エスニ・シティ東京」

日 時：平成 14 年 10 月 12 日 (土) 13:00-15:00

場 所：お茶の水女子大学 文教 1 号館 307 室

担当講師：文教育学部 熊谷圭知 助教授

※当日は、次回以降の回の参加要領を指示するので
必ず受講すること。

②第 2 回目 (講義と野外見学)

江戸・東京の怪談と都市環境

日 時：平成 14 年 10 月 19 日 (土) 13:00-15:00

場 所：お茶の水女子大学 文教 1 号館 307 室

担当講師：文教育学部 内田忠賢 助教授

③第 3 回目 (野外見学) 「下町」今昔物語

日 時：平成 14 年 10 月 26 日 (土) 13:00-17:00

場 所：集合場所は第 1 回目にお知らせします

担当講師：文教育学部 栗原尚子 助教授

④第 4 回目 (野外見学) 「武蔵野」今昔物語

日 時：平成 14 年 11 月 2 日 (土) 13:00-17:00

場 所：西武池袋線池袋改札口前

担当講師：文教育学部 杉谷 隆 助教授

上記の通り募集・実施し、予定定員 30 名で、30 名を受付し、22 名から申込
があり、うち 20 名が受講、13 名が修了した。

この講座では初めて講義形式だけでなく、実地視察 (3 回) を取り入れた。

○第2回ホームページの作り方研修会を開催

企画広報室では本学職員を対象に、第2回ホームページの作り方研修会を、平成14年8月21日、23日、26日～29日の各9時～11時30分（計15時間）に本学情報処理センター2階情報処理実習室で実施した。内容は、フレームを除くHTML3.2とスタイルシートの読み書きを習得した。参加者は7名で、うち6名が修了し、平成14年9月4日（水）に矢加部事務局長より修了証が渡された。

○科学研究費補助金に関する説明会

科学研究費補助金の理解を深めるため、教職員を対象とした説明会を10月17日（木）午後4時50分から理学部3号館701号室で開催し、約70名が参加した。

科学研究費補助金の公募内容や書類審査の概要等について本学教官や事務局から説明があり、参加者は熱心に聞き入っていた。



○レクリエーション行事

『職員ソフトボール大会』

去る、10月28日(月)・30日(水)に、大学グラウンドにおいて、平成14年度職員レクリエーション「職員ソフトボール大会」が行われました。

今回は、4チームの対戦となり、応援者を含め、80人が参加し、決勝戦・3位決定戦とも同点により、ジャンケンで勝敗を決定する熱戦が繰り広げられました。

なお、成績は、次のとおりです。

優 勝	企画広報室・研究協力室・生活科学部
準優勝	施設課・学務課・留学生課・附属図書館
第3位	会計課
第4位	総務課・入試課



優 勝 企画広報室・研究協力室・生活科学部



準優勝 施設課・学務課・留学生課・附属図書館

○ 訃 報

小 口 忠 彦 名 誉 教 授

小 口 忠 彦 氏 には 平成 14 年 8 月 1 日 逝 去 さ れ ま し た 。 享 年 85 歳 。
こ こ に 謹 ん で 哀 悼 の 意 を 表 し ま す 。

生年月日 大正6年6月4日生

略 歴 昭和20年9月 東京帝国大学文学部卒業
昭和22年3月 東京第二師範学校授業嘱託(専任)
昭和24年6月 東京学芸大学講師
昭和27年4月 お茶の水女子大学文教育学部講師
昭和32年4月 同 文教育学部助教授
昭和41年5月 同 大学院人文科学研究科担当
昭和43年4月 同 文教育学部教授
昭和48年4月 同 文教育学部附属小学校長(併任~52.3.31)
昭和51年6月 同 大学院人間文化研究科担当
昭和58年4月 お茶の水女子大学 停年退職
昭和58年4月 同 名誉教授
平成14年8月 逝 去

研究業績 心理学、とくに学習心理学、人間性の心理学の分野において、独創的な業績をあげられた。その該博な知識とあたたかい人柄とで裏付けられた研究・指導は、本学の学生ばかりでなく、全国の教育現場にある人々にも強い影響を与えるものであった。

学内にあっては、附属小学校長及び評議員を歴任され、人間文化研究科の発足当初からの担当教官として、その発展に尽力された。

学外にあっては、文部省教育課程審議会委員、学術審議会専門委員、東京地区教育実習研究連絡協議会長などを歴任され、斯界に多大な貢献をされた。

著 書 等 『学習心理学序説』 文京書院 1952年
『学習の心理』 誠信書房 1964年
『創造心理学』 明治図書 1970年

日 誌

- | | |
|--|--|
| <p>9月2日(月) 附属高等学校第2学期始業式
附属中学校第2学期始業式
附属小学校第2学期始業式
専攻長会議</p> <p>3日(火) 学長補佐会議</p> <p>4日(水) 生活科学部臨時教授会
人間文化研究科前期専攻会議
セクシュアル・ハラスメント防止対策委員会
理学部拡大計画委員会</p> <p>5日(木) 人間文化研究科後期専攻会議
代議員会</p> <p>6日(金) 博士前期課程9月入試合格発表
保育施設検討委員会
理学部ホームページ委員会</p> <p>9日(月) 附属幼稚園第2学期始業式
附属学校連絡会
五女子大学コンソーシアム連絡協議会
学長補佐会議
附属学校教育研究委員会</p> <p>10日(火) 平成13年度受入れ日本語・日本文化
研修留学生修了証書授与式
臨時部局長会議
主任会議
大学院指定専攻コースの現地視察
学校評議員会(附属中学校)</p> <p>11日(水) 附属図書館長選挙
教授会
外国人留学生見学旅行(~13日)</p> <p>12日(木) 博士後期課程9月入試(~13日)
学校評議員会(附属幼稚園)</p> <p>13日(金) 自衛消防訓練審査会
学校評議員会(附属小学校)</p> <p>16日(月) 夏期休業終</p> <p>17日(火) 前学期末試験・補講日(~20日)
アフガニスタンWG
生活環境研究センター運営委員会</p> | <p>18日(水) 21世紀COEプログラムヒアリング
ジェンダー研究センター運営委員会
学生委員会
大学院計画委員会
生活科学部臨時主任会議
入学者選抜方法研究委員会
大学院前期課程入試委員会
大学院後期課程入試委員会
生活科学部本館改修関連打合せ会</p> <p>19日(木) 生活科学部カリキュラム小委員会
人間文化研究科後期専攻会議</p> <p>20日(金) 代議員会
学長補佐会議
理学部臨時主任会議
留学生センター運営委員会</p> <p>21日(土) 附属高等学校文化祭(~22日)</p> <p>24日(火) 博士後期課程9月入試合格者発表
秋期休業開始(~27日)
部局長会議
専門職大学院WG
生活科学部臨時主任会議</p> <p>25日(水) 評議会
国際交流委員会
施設計画委員会
情報処理センター運営委員会</p> <p>26日(木) 広報委員会</p> <p>27日(金) 秋期休業終
事務連絡協議会</p> <p>28日(土) 附属中学校生徒祭(~29日)
公開講座</p> <p>30日(月) 前学期末試験・補講日
9月卒業式・大学院学位記授与式
保育所開所式
人間文化研究所看板掲揚式</p> <p>10月1日(火) 後学期授業開始
生活科学部臨時主任会議
生活環境研究センター運営委員会</p> |
|--|--|

10月2日(水) 国立大学法人化庶務系WG
第2回就職ガイダンス
教養教育WG
子どもの発達研究センター研究委員会

3日(木) 課長等連絡会議
事務組織WG

4日(金) 附属図書館運営委員会
セクシュアル・ハラスメント防止対策委員会

5日(土) 公開講座

7日(月) 附属学校委員会
学長補佐会議
附属学校教育研究委員会
理学部拡大計画委員会

8日(火) 臨時部局長会議
公開講座委員会
主任会議
ジェンダー研究センター運営委員会
五女子大学コンソーシアム

9日(水) 外国人留学生オリエンテーション
教授会
人間文化研究科前期専攻会議

10日(木) 職員定期健康診断(～11日)
理学部カリキュラム委員会

11日(金) 附属四校園PTA主催講演会
専攻長会議
アフガニスタンWG

12日(土) 公開講座

15日(火) 臨時主任会議(生活科学部)
生活環境研究センター運営委員会
ホームページ運営委員会
広報委員会

16日(水) 代議員会
アフガンフォーラム
人間文化研究科後期専攻会議

17日(木) ジェンダー研究センター運営委員会
科学研究費補助金説明会

18日(金) 学長補佐会議
理学部拡大計画委員会

19日(土) 公開講座

21日(月) 帰国子女・外国学校出身者特別
選抜願書受付開始(～11月1日)
セクシュアル・ハラスメント防止対策委員会

22日(火) 附属学校連絡会
部局長会議

23日(水) 評議会
就職ガイダンス(第3回)
セクシュアル・ハラスメント等人権
侵害防止ガイドライン学内ヒアリング

24日(木) 理学部拡大計画委員会

26日(土) 公開講座

28日(月) 推薦入試願書受付開始(～11月1日)
ソフトボール大会(28・30日)
附属学校委員会
事務連絡協議会

29日(火) 監査法人提案内容説明会
文部科学省永年勤続者表彰状伝達式
臨時主任会議(生活科学部)
離任式(事務局長)
留学生センター運営委員会

30日(水) 理学部退官教官との懇談会
学生委員会
学務委員会

31日(木) 紀要(自然科学報告)編集委員会
生活科学部カリキュラム小委員会